

令和5年度第8回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和5年8月4日（金）9：00～16：00
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 長田教育長
正司委員 今井委員 山下委員 吉井委員 本田委員
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 10名（一般10名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（長田教育長）

おはようございます。ただいまから、教育委員会会議を行います。

議事に入る前に、本日は多数の方に傍聴にお越しをいただいております。神戸市教育委員会傍聴規則第1条第2項では、傍聴できる人数は10人以内と規定されておりますが、本日は教科書採択を予定しておりますので、本日に限り傍聴定員を30人としたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

（賛同）

（長田教育長）

それでは本日に限り、傍聴定員を30人といたします。

傍聴者の方々には、受付でお渡しをしております傍聴人の注意事項の記載内容をいま一度御確認いただきますよう、よろしくお願いをいたします。

教第22号議案 令和6年度使用神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程の教科書採択について

（長田教育長）

本日は議案1件、教第22号議案令和6年度使用神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程の教科書採択についてです。

本日は、4月17日の教育委員会会議で承認をしました採択要領に基づいて、採択について審議をいたします。

まず初めに、調査・研究報告書についての報告をお願いします。

（藤井教科指導課長）

まず初めに、採択の基本的な考え方について確認させていただきます。

神戸の教育は、確かな学力、豊かな心、健康・体力を子供たちにバランスよく身につけさせ、心豊かにたくましく生きる人間の育成を目指しています。この目指す人間像の実現に向けて策定した神戸市小学校教育課程基準等に沿って教科書に関する調査・研究を行い、適正かつ公正に採択をします。

続きまして、報告事項でございます。資料1を御覧ください。

調査・研究報告書の3ページをお開きください。採択事務日程のとおり、調査委員会、評価委員会、教科書展示会等の採択事務を進めてまいりました。

5ページをお開きください。調査委員会は種目ごとに校長、教員、事務局指導主事の総勢122名で構成しまして、資料2の種目別観点という冊子がございますけれども、この中に記載しています共通観点、種目別観点に基づいて調査・研究を行いました。

資料1の3ページに戻っていただいて、教科書調査委員会は4月28日に第1回を行いまして、以降3回程度協議を行い、教育委員会事務局に調査・研究結果を報告、それを基に事務局においてこの調査・研究報告書を作成してございます。

本報告書は、4月の教育委員会会議で決定いただきました4つの共通観点についてまとめたもので、先日の教育委員会事前研究においても御説明させていただきましたところでございます。

続いて資料3、評価委員会の意見、2ページをお開きください。教科書採択に当たり、専門的な見地、市民の立場から広く意見を求めることを目的に、学識経験者、保護者代表、学校関係者等8名で構成する神戸市教科書評価委員会を開催しました。

評価委員会でいただいた御意見等につきましては、全てを資料にまとめてございますので御参照ください。

続いて資料4、教科書展示会意見、1ページを御覧ください。総合教育センターと市内10か所の図書館等において、6月14日からそれぞれ14日間の法定展示が行われました。今年度は344名の閲覧があり、教科書に関する意見は、資料に原文のまま掲載してございます。寄せられた意見は合計98件でございました。

報告については以上でございます。

(長田教育長)

それでは、ここまでで何か御質問、あるいは御意見ございませんか。よろしいでしょうか。

それでは続いて審議に移りたいと思います。

各教科書の説明をお願いいたします。まず、国語からです。

(南波指導主事)

国語の報告をいたします。資料7ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、東京書籍、教育出版、光村図書の3社、32点です。

では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料9ページ、観点ア、知識及び技能の習得のための工夫です。

東京書籍3年生上の教科書をお取りください。ピンクの付箋、128ページを御覧ください。

「言葉相談室」は、主語と述語がねじれた文や、修飾する言葉とされる言葉の関係が曖昧な文など、児童がつまずきやすい内容を取り上げた教材です。2年生以降の学年には複数回設定されており、文法についての理解を深めるための工夫がなされています。

右側のページ上段にあるとおり、キャラクターがつまずきの具体例を児童の言葉で示しているため、児童が問題意識を持ちながら学習に取り組めるよう工夫されています。また、左側のページ左下の二次元コードにアクセスすると、練習問題が表示されます。

言葉相談室のほかに、漢字や文法、熟語など言葉の学習では、教科書紙面に加えデジタルコンテンツにも練習問題が用意されており、問題を解きながら知識の定着を図ることができるよう工夫されています。

次に、光村図書6年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋、309ページです。

折り込みページを開いていただくと、「言葉の宝箱」というページがございます。言葉の宝箱では、人物を表す言葉、事物を表す言葉、心情を表す言葉の3つのカテゴリーにまとめて掲載されています。これは全ての学年に共通するものです。児童の発達段階や当該学年の教材との関連を図りながら、多くの言葉に出会えるよう工夫されたページです。

左下には、言葉の宝箱をきっかけに言葉の意味を考えたり、言葉を増やしたりするための活用方法も示されています。また、307ページには、伝え合うための言葉として、考えを伝えたり聞いたりするとき役に立つ言葉が掲載されています。

このように、自分の話や文章の中で使える語彙を増やすことができるよう工夫されていることが特長です。

次に資料10ページ、観点イ、思考力・判断力・表現力等を育成できる工夫です。

東京書籍3年生下の教科書をお取りください。水色の付箋、38ページを御覧ください。

右ページ、作品名の左側に、言葉の力、人物の性格を想像すると示されています。これは、モチモチの木を読むことを通して身につけさせたい国語の力です。

このほかの、話すこと聞くことや書くこと、読むことの学習においても、当該学習で身につけさせたい力を焦点化して、言葉の力として示されています。

続いて、55ページをお開きください。

左側のページ中央部に、緑のキャラクターが描かれています。言葉の力と特に関わりの深い学習場面には統一のキャラクターが配置されており、ポイントとなることを意識しながら進められるようになっております。

ページをおめくりください。56ページです。

振り返る場面です。学んだ言葉の力について、図やイラストも加えて簡潔にまとめられています。このように、身につける力を児童が意識しながら学習できるよう工夫されて

います。

次に、光村図書 3 年生下の教科書をお取りください。水色の付箋、121ページを御覧ください。

左側のページを御覧ください。先ほどと同じモチモチの木の学習です。

続きまして、134ページにお進みください。見開き右ページの端に、「問いを持とう」と目標が示されております。目標には、モチモチの木を読むことを通して学ぶことが示されていますが、光村図書では、目標の前に「問いを持とう」が示されていることが特徴です。「問いを持とう」の、あなたはどう思いましたかというような問いかけにより、児童が自分の考えたいことを意識しながら学習を展開できるような工夫がなされています。これは、神戸の児童の学力に関する課題を改善するための効果的な学習の1つであると考えます。

学力調査の結果から、神戸の児童には、目的や条件に応じて適切に自分の考えを表現する力に課題があることが見えております。この課題の改善に向けては、児童自身が学習の目的を持つことや、自分が思いや考えを確かめながら進めることが大切です。「問いを持とう」により、私はどう思ったのか、どうしてなのか、考えてみたいと思える場面が生まれ、学習への目的意識が強まります。

左側のページ下段、「選んで読み深めよう」のように、児童1人1人の興味や関心に沿った学習を進められるような工夫があることも特長です。

さらに「問いを持とう」に戻りまして、ここには「友達はどのように考えているでしょうか」など、他者へ意識が向かうような問いかけがあり、対話的な学びの中で思考を深めることができるよう工夫されています。

また、児童が考えをつくっていく過程において、思考を深めるための工夫がなされています。右側のページ下段です。「言葉に着目しよう」というコーナーです。

ここには、課題解決の過程で児童がどのような言葉に注目して読むとよいかということが、具体的に示されています。言葉に立ち止まりながら言葉の意味を考えたり、想像を広げたりするなど、言葉に対する見方、考え方を働かせながら、学習を進められるよう工夫されています。

次に、資料11ページ、観点ウ、探究する意欲を高める工夫です。

教育出版 3 年生下の教科書をお取りください。緑の付箋、52ページを御覧ください。

右側のページ右下、ふくろうのキャラクターが、「考えたことを伝え合おう」と、学習の目的を伝えています。

次に、75ページを御覧ください。ここでは、左側ページ左下にふくろうのキャラクターがおり、「3年生で学んだインタビューの仕方が生かせそうだね」と、これまでの学習内容を想起させる呼びかけをしています。

96ページをお開きください。右側のページ右下です。ここでは、「どんなときに使われているかな」と、児童の思考を促す言葉がけとなっています。このように、キャラクター

の問いかけややり取りを手がかりに、児童が学習を進められるよう工夫されています。

次に、光村図書6年生の教科書をお取りください。先ほど開いた教科書です。緑の付箋、9ページを御覧ください。

9ページから16ページは、国語の学びを見渡そうというページです。9ページでは、国語を学ぶ意味を考えます。

次のページ、10ページ、11ページを御覧ください。国語の学びの流れが示されています。どの学習でも同じサイクルで学ぶことで、児童に学び方が定着するよう工夫されています。

続きまして、17ページを御覧ください。1年間の学びを見通した上で、国語の学習でできるようになりたいことを書くコーナーがあります。

続けて、251ページを御覧ください。学年末には1年間を振り返り、ついた力や、その力を生かしたい場面について書き込むコーナーがあります。

学習指導要領では、能動的に学び続ける資質・能力を育むことの大切さが言われておりますが、光村図書では、児童が自分の目標を持って学習を進めることができるよう、そして自分の学びを実感できるような工夫がなされています。

次に、資料12ページ、観点エ、2、ユニバーサルデザインの観点からの配慮です。

東京書籍6年生の教科書をお取りください。黄色の付箋、46ページを御覧ください。

読み物教材の最初には、見開き1ページで挿絵や写真がダイナミックに配置されており、児童が興味を持って学習に取り組みやすいよう工夫されています。左下の二次元コードから、デジタルコンテンツにアクセスできます。教材に関する動画や作者へのインタビューなど、動画や映像資料等の多様なコンテンツが充実しています。

次に、光村図書6年生の教科書をお取りください。黄色の付箋、9ページを御覧ください。巻頭、「学びを見わたそう」のページは、他ページより幅が短く、紙質も違うつくりとなっております。

黄色の付箋、311ページをお開きください。こちらの巻末ページも同様に、紙面のつくりがほかのページと異なっております。必要なときにすぐに関きやすく、見やすい工夫がなされています。

全ての観点の評価結果は、8ページの一覧表にまとめてありますので御覧ください。

以上で、国語の調査・研究報告を終わります。

(長田教育長)

それでは委員の皆さんから、何か御質問、御意見はございませんか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

学校図書館とか司書さんとかを活用するというか、その辺り教科書で何か工夫があったら、教えてもらいたいなと思うのですが。

(南波指導主事)

読書活動の部分にもつながると思います。

まず、児童が様々な読み物に触れるような工夫は、各社なされております。例えば東京書籍、3年生の下、先ほどのモチモチの木で御紹介したページ、56ページを御覧ください。学習に関する読み物教材がこのように紹介されています。こちらは教育出版、光村図書も同様に、このようなコーナーがございます。

学習のときに学校司書に協力を依頼して、この本を紹介してもらうことで、子供たちが読書に触れる機会がたくさん増えていくことになります。

同様に、巻末にも本を紹介するコーナーがたくさんございます。教育出版、6年生の下、140ページです。同じように、光村図書6年生、280ページです。

このように、当該学年の子供たちにふさわしい本、適切な本、触れてほしい本が紹介されておりますので、様々な学習場面、学習内容に合わせて、学校司書と協力しながら本を選択し、子供たちに紹介していくということができるとと思います。そのような工夫がされております。

(長田教育長)

よろしいですか。ほかにございませんか。

どうぞ、本田委員。

(本田委員)

御説明ありがとうございます。

光村図書の御説明のときに、なぜ国語を学ぶのかというところの説明をいただいていたんですけども、この母国語というか、国語をなぜ学ばないといけないのかっていうのを子供たちが知って重要なと思うんですけども、ほかの書籍ではそういった工夫はされているのでしょうか。

(南波指導主事)

教科書の最初のページに、学習を見渡すページがございます。6年生を見比べていただきたいと思いますので、それぞれ3社とも、6年生の教科書をお取りください。

東京書籍ですと、6ページに、1年間でこういった学習を進めていくというロードマップが示されております。そして8ページに、国語の学習の進め方ということで、このように学んでいくということを見渡せるような仕組みがございます。

教育出版社の6年生上、最初のページをお開きください。4ページです。こちらはその学年で学ぶことが、一目で分かるように工夫をされております。6ページに、読むことの教材の説明もございます。

光村図書は、先ほど御説明したところ、9ページからですけれども、そういった部分が特に手厚く工夫されています。子供自身がどんなことを学んで、どんな目標を持って学びたいかなということが書き込めるようなコーナーもありますので、より意識できるような工夫になっております。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

どうぞ、山下委員。

(山下委員)

御説明ありがとうございました。

先ほどの御説明のように、光村図書では、10ページのところに、神戸市の学力の課題になっているところがちゃんと書かれていますという話がされておりました。

ほかの教科書は、そういう視点で書かれているようなところはございますでしょうか。

(南波指導主事)

目的や条件に合わせて自分の考えをまとめる力というところに、神戸市の児童の課題がございますので、より子供自身が自分の考えを持てるように、目的を意識するということが大事だと考えております。

ほかの教科書にも、自分の考えをまとめるということは、それぞれの単元、学習において出てきているのですけれども、より自分の課題意識を持ちながら取り組めるような工夫が、光村図書の「問いを持とう」によってなされているかと思えます。

そのほかに、知識及び技能で、漢字の定着、知識の定着を図る点については、東京書籍のほうで、デジタルコンテンツも含めて練習問題が豊富に用意されている点は、特長になるかと思えます。

(長田教育長)

どうぞ。

(吉井委員)

言語活動、とりわけ書く力をつけるときに、先生方の使い勝手といいますか、そういったことに焦点を当てて授業を展開するとき、各社どのような工夫があるか、教えていただければと思います。

(南波指導主事)

書くことについて、まず東京書籍の3年生下、94ページをお開きください。

94ページに、先ほどのモチモチの木と同様、言葉の力に書く力をつけるために、特に何に気をつけて学習を進めるのかということが、具体的に示されております。

教育出版社の3年生下、98ページを御覧ください。こちらでも自分の心に残っていることを書いていく学習ですけれども、100ページをめくっていただきますと、どのようなことを考えて書いていったらよいのかということが、ページの下段のキャラクターや子供のやり取りによって、ポイントが分かりやすく示されております。

続きまして、光村図書、3年生下、81ページを御覧ください。自分の町のよいところを書いていく、文章に表していくという学習です。

82ページをおめくりください。下の黄色い部分に、書くときに気をつけること、ポイントが示されております。

84ページにお進みください。84ページのチェック項目にありますように、感想を伝え合うときはというコーナーにありますように、どのような点について書いているかをチェックしながら確かめるところもございます。

さらに、ここに示されていること以外、ほかに、自分が大事だと思ったことはありますかということで、よりよく書くための自分なりのポイントをも見つけていくような促しもございます。このように書く力をつけるための工夫がされております。

(吉井委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほか。

どうぞ、今井委員。

(今井委員)

御説明ありがとうございます。1年生で入って初めて授業を受けて、国語で、教科書にわくわくしながら楽しんで学びに入っていけるように、きっと皆さん、どの社も工夫されていると思うんですけども、そういう視点で国語を楽しく学んでいけるような、1年生の初め、各社さんどういう工夫がされているか、特徴的なところがあれば少し教えていただいていいですか。

(南波指導主事)

全ての会社、1年生の上をお取りいただきたいと思います。

まず、東京書籍から最初のページをお開きください。

初めは、子供たちが想像を膨らませることを楽しめるように、絵が中心のお話が進んでおります。8ページは、入学当初のお友達と出会う場面ですが、国語の学習と関連づけた

がら、自然と自分の名前を伝えたり、紹介したりすることがしやすいような学習場面となっております。16ページに進みますと、徐々に文字を書いていったり、18ページ、あいうえおを学んでいくというように、最初は経験を中心に、そこから文字を書いたり読んだりというような学習が展開されるように工夫されております。

教育出版のほう、最初のページをお開きください。こちらも東京書籍と同様の構成になっており、子供たちの学習が進みやすいような工夫がされております。特に教育出版は、最初の1ページから5ページまでは文字がほとんどなく、絵を見ながら、それから学校生活や子供たちの日常生活に近い場面から想像を広げられるような工夫がなされております。

光村図書、最初のページを御覧ください。こちらも最初のページは絵が中心で、子供たちが楽しく想像を膨らませ、気づいたことを話すことが楽しいと思えるような学習のスタートとなっております。

9ページをお開きください。ここから、「さあ始めよう」ということで、子供たちも国語の学習を意識しながらの学習になりますけれども、10ページをお開きいただきますと、最初に読み聞かせがあり、本を読む、絵本を楽しむ、読み聞かせを聞くことは楽しいなどということを体験しながら、学習が進んでいます。12ページを開いていただきますと、学校生活の中でどのような言葉を使うことが必要なのかな、ふさわしいものかなということ、言葉の使い方を身につけるような学習展開になっております。

その後はほかの2社と同様、文字を書いたり読んだりということに徐々につけていくというふうに工夫されております。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これから投票を行います。

投票の結果、過半数の4票を得票した教科書があった場合は、その教科書を選択いたします。

3票ずつ同数の場合は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項の規定に基づき、教育長の決するところとします。

その他の場合で過半数を得票した教科書がなかった場合は、得票のあった教科書について再度審議させていただくということといたします。

これから投票用紙をお渡しをいたしますので、最適と思われる発行者名に丸印をつけていただきたいと思えます。

それでは発表いたします。

光村図書出版株式会社、6票。よって過半数を超えておりますので、光村図書出版株式会社の教科書を採択することといたします。

それでは教科書の入れ替えを行いますので、しばらくお待ちください。

準備はよろしいでしょうか。

続いて、書写です。それでは説明をお願いいたします。

(田村係長)

書写の報告をいたします。資料の13ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、東京書籍、教育出版、光村図書 of 3社、18点です。

なお、小学校学習指導要領における書写は、国語科の知識及び技能の(3)我が国の言語文化に関する事項に位置づけられていますので、共通観点イの思考力、判断力、表現力に関する調査は実施しておりません。

では、調査結果について、共通観点ア、ウ、エについて、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料の15ページ、観点ア、知識及び技能の習得のための工夫です。東京書籍3年、ピンクの付箋16、右ページを御覧ください。

ここでは、点画の折れを学習しますが、虫眼鏡マーク1では、折れのある文字を硬筆でなぞります。右下の「書写のかぎ」でポイントを確かめて、左ページの筆マーク2で、毛筆の「日」を書きます。折れるところで一度止めると形が整うことがつかめたところで、右ページの鉛筆マーク3、折れのある漢字を硬筆で書くという流れになっています。

このように、東京書籍は毛筆のどの題材にも、目当てに関連する硬筆文字が記載されています。これは毛筆と硬筆との関連的な指導が必要という学習指導要領の考え方に基づいており、毛筆の学習を硬筆に生かすことを強調している点が、東京書籍の特長です。

次に、教育出版4年、ピンクの付箋27を御覧ください。

「は」と「す」では、結びの筆遣いや形が違いますが、1つの題材で横の結びと縦の結びを比べながら学習できるように、字句の選択が工夫されています。

続いて、教育出版3年、ピンクの付箋13を御覧ください。初めての毛筆の授業となる3年生の第一教材は「二」です。

次に、ピンクの付箋17を御覧ください。縦画の筆遣いで「土」ですが、前回の横画の学習が生かされます。

続いて、ピンクの付箋19を御覧ください。第三教材「大」では、払いを学習します。

ピンクの付箋25を御覧ください。「力」は、折れと跳ねの学習ですが、前回の「大」で学習した払いが含まれています。

このように、学んだことを生かしながら次の学習に取り組めるように、題材が配列されています。字句の選択と題材の配列が工夫されている点が、教育出版の特長です。

次に資料16ページ、観点ウ、探究する意欲を高める工夫です。教育出版4年、学習の進め方、緑の付箋5を御覧ください。

学習の進め方は、1、つかむ・考える。2、書く・確かめる。3、振り返る。4、生かす・広げるという流れになっています。

1のつかむ・考えるでは、いつもの書き方で書く試し書きと、教科書の文字を比べるこ

とで課題をつかみ、目当てに気をつけて練習するという展開で、児童が自ら考え、主体的に学ぶことができるよう工夫されています。

3の振り返りですが、同じく教育出版、4年、緑の付箋17、上段の写真を御覧ください。試し書きとまとめ書きを比べて、目当てに気をつけて書けたところについて話し合っている様子です。友達と伝え合う活動を設定することで、自身の伸びを確かめたり、意欲を高めたりできるよう工夫されています。

次に、光村図書6年、緑の付箋5、上段の写真を御覧ください。

3年生以上には、タブレットを活用しようのページがあります。毛筆で書いた文字を撮影して自分の課題を見つけたり、二次元コードを読み取って様々な資料にアクセスしたりといった、タブレットの活用方法が紹介されています。

光村図書3年、緑の付箋35を御覧ください。

二次元コードを読み取ると、このような動画につながります。画面のほうを御覧ください。

(動画再生)

(田村係長)

音声と字幕、上からと斜めからの映像、アニメーションの活用といった丁寧なつくりになっており、個別に学習を進められるよう工夫されています。

続いて、光村図書3年、緑の付箋45、左下の写真を御覧ください。

これは神戸市の書初展の写真です。二次元コードを読み取ると、地図の画面が出てきます。全国各地の書初の様子が地方ごとにまとめられており、近畿地方を選択すると、このように近畿の図が出てきます。そして、各地の書初の様子が資料の中に収められていて、神戸市もここに掲載されています。

このような資料を使って、伝統文化である書初について調べる学習を展開することもできます。デジタルコンテンツが充実しており、児童が個々の興味・関心に応じて写真や動画を活用できるよう工夫されている点が、光村図書の特長です。

次に、資料17ページ、観点エ、ユニバーサルデザインの観点からの配慮です。

東京書籍1年、黄色の付箋5を御覧ください。鉛筆の持ち方と紙の押さえ方について、右手と左手両方の写真が掲載されています。実物に近い児童の手の大きさなので、実際に手を置いて確かめることができます。

次に、教育出版5年、黄色の付箋3、目次を御覧ください。上段は学習する項目、下段はその内容をダイジェスト的に示すという紙面構成で、1年間の学習をイメージしやすくなっています。

上段は、内容のまとまりごとに青字で番号をつけ、区切りを際立たせています。また、大小の文字を使い分ける、毛筆題材をページ番号のすぐ上に提示するなど、情報を整理し、

見やすくする工夫がされています。

全ての観点の評価結果は、資料14ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、書写の調査・研究報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、何か御意見、御質問ございますか。

どうぞ、山下委員。

(山下委員)

御説明ありがとうございました。先ほど1件、運筆の動画が流されていたんですけども、ほかの会社でも同じようなデジタルコンテンツを準備されているのでしょうか。

(田村係長)

ほぼ全ての教材にデジタルコンテンツ、そして運筆の動画がついています。つくりは各社によってそれぞれ特徴があります。

(山下委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

今井委員。

(今井委員)

御説明ありがとうございます。書写は授業時間数も多くないですし、おそらく得意な先生もいればそうでない先生とか、あるいは若い先生、経験の浅い先生にとって、なかなか教えるのが難しい場合もあるのかもしれないので、そういう先生でもうまく利用できるという意味では、教科書の特徴とか、あれば教えていただいてもいいですか。

(田村係長)

資料の16ページを御覧いただきながら説明させていただきます。

各社ともに、1時間の授業の展開については、そこに書いてありますように、東京書籍の場合は、見つけよう、確かめよう、生かそうという流れ。それから教育出版については、先ほど御説明しましたとおりです。光村図書については、考えよう、確かめよう、生かそうという、こういう流れを設定していますので、どの教科書もその展開に応じた教科書の

つくりになっています。

あと、デジタルコンテンツをたくさん準備されて、課題を設定する場面であったり運筆の場面であったり、コンテンツを中心に展開されているのが、東京書籍と光村図書ということになると思います。

教育出版の場合は、デジタルコンテンツは非常にシンプルなんですけれども、主に運筆を中心にしたものが掲載されています。音声もほとんど入っていないくて、運筆動画を、上からの角度で見るというふうなことになっています。教科書を見ていただきますと、例えば教育出版4年生の16ページ、4年生の第一教材は「花」なんですけれども、このように穂先の通り道であったり、ここで止めてとか、筆遣いですね、筆圧であったり筆遣いであったりが図や言葉で分かりやすく書かれています。

教育出版の場合は全ての毛筆教材について、ちょっと大きさに違いがあるんですが、3年から6年まで全ての教材について、このような運筆の説明が書かれています。そういうことで、ちょっと書写はハードルが高いなと思っている先生だったり、経験が少ない先生であったりでも、これを読んだり、またデジタルコンテンツを併用したりしながら授業をすることができると思います。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

硬筆、鉛筆のときに、左利きの方への配慮の話があったんですが、毛筆に関して左利きの子供たちへの配慮っていうのは、どんな感じになっているのでしょうか。

(田村係長)

毛筆が始まるのは3年生ですので、各社3年生の教科書を御用意いただけたらと思います。

大体冒頭のところに書いてあることが多いんですけども、東京書籍の場合は、4ページ、5ページを見てください。5ページの真ん中辺に、左手で書く場合の用具の置き方というふうなことが書かれています。

それから教育出版の場合は、6ページ、7ページのところに道具の置き方があるんですが、7ページの上のところに写真がありまして、二次元コードを読み取ると、もう少し大きい写真が出てくるというふうなことになっています。

それから光村図書の場合は、4ページ、5ページで、4ページの右の下のところに、右手で書く人、左手で書く人ということで、二次元コードで説明につながるようになっております。

(長田教育長)

ほか、ございませんか。よろしいでしょうか。

特にないようでしたら、これから投票を行います。

採択を決定する考え方は、先ほど申し上げたとおりです。

それでは投票用紙をお渡ししますので、記入をしてください。

それでは発表いたします。

教育出版株式会社、6票。よって過半数を超えておりますので、教育出版株式会社の教科書を採択することといたします。

それでは入れ替えを行います。

それでは、準備よろしいでしょうか。

続いて社会に参ります。説明をお願いします。

(澤田指導主事)

社会の報告をいたします。資料19ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、東京書籍、教育出版、日本文教の3社、14点です。

では調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料21ページ、観点ア、知識及び技能の習得のための工夫です。

東京書籍について説明いたします。東京書籍の6年生、政治・国際編、ピンクの付箋18ページ、19ページを御覧ください。

18ページの左下に「ことばコーナー」が設けられており、社会科の学習のキーワードを欄外で分かりやすく説明しています。

19ページの右下を御覧ください。キーワードだけでなく、児童がつまずきやすい言葉も別に説明されています。

続けてピンクの付箋、20ページの上を御覧ください。18ページの左下の学習のまとめでは、言葉を生かして表現する活動を行うように設定されています。

このように、学習のまとまりの中で習得した知識を定着させるように工夫されているのが、東京書籍の特長です。

次に、日本文教について説明します。日本文教の5年生、ピンクの付箋27ページの右下の、「学び方・調べ方」コーナーを御覧ください。

学び方・調べ方コーナーでは、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」の学び方が分かりやすくまとめられており、児童が学習するときに、その都度確認できるようになっています。

特に資料等の読み取りの解説では、何を確かめればよいのか、その次にどんなことを見つければよいのか、そして、どうしてそのような特徴があるのか理由などを考えるというように、段階を追って示しています。

前のモニターを御覧ください。デジタルコンテンツでは、コーナー内の本文をクリックすると、関連する図版が赤で囲まれるようになっているので、児童が1人1台端末を使用し、確認しながら学習を進めることができます。

このように、日本文教では、資料を深く読み取る技能を高めることができるように工夫されています。

次に、資料22ページ、観点イ、思考力・判断力・表現力等を育成できる工夫です。

東京書籍について説明します。

東京書籍の3年生、青の付箋の37ページでは、白地図にまとめる。続きまして、4年生の青の付箋67ページでは、図にまとめる。東京書籍5年生上の、青の付箋107ページでは、プレゼンテーションソフトにまとめるというように、学習のまとめの場面では、発達段階に応じた多様な表現活動が取り入れられています。

また、6年生歴史編、126ページの左側です。「人物カードに整理しよう」では、まとめた後、意見を交換しようというように、話し合いによる追究活動へとつながる内容も示されています。

このように、まとめの場面の活動が充実しているのが、東京書籍の特長です。

続いて、教育出版について説明します。

教育出版の6年生、青の付箋、198ページの上の写真を御覧ください。デパートの様子から、当時のにぎわいがうかがえます。

続いて青の付箋、220ページの上の写真を御覧ください。戦争が終わった後の青空教室の子供たちが、安心して授業を受ける表情が読み取れます。

このように、6年生の歴史学習において、明治以降の写真をカラーにすることで、当時の暮らしや人物の表情から当時の様子を想像しやすく、深い学びができるように工夫されています。

続いて、日本文教について説明します。日本文教の5年生、青の付箋の42ページ左上のグラフと表を御覧ください。

児童は、このグラフと表の資料から、水害の発生件数や洪水被害が大幅に減ったことに疑問を持ちます。それがこの時間の問いとなり、この問いを解決するために、42ページの資料館のお話や、43ページの写真資料、本文資料などを使って調べます。そして、この時間に気づかせたいことが、43ページの下の子供の吹き出しによってまとめられています。

このように、1見開き1時間の中で、子供がどうしてだろうという問いを持ち、それを解決していくような構成になっています。児童の思考の流れが、学習のまとまりの中で連続・発展するように工夫されているのが、日本文教の特長です。

次に、資料23ページ、観点ウ、探究する意欲を高める工夫です。

まず、東京書籍について説明します。6年生、政治・国際編の緑の付箋58ページ、59ページを御覧ください。

6年生の、私たちの生活と政治の学習のまとまりの最後に、地域の公園づくりについて

話し合う活動が設けられています。

このように、「いかす」のコーナーでは、社会的な事柄に参画したり、提案したり、発信したりする学習をすることで、これからの社会の発展・在り方について考えることができるように工夫されています。

次に、日本文教について説明します。日本文教5年生、緑の付箋134ページ、135ページを御覧ください。これからの食料生産の学習のまとまりの最後に、限りある食料資源を大切にするために、横浜市の取組が示されています。

このように、未来につなげる私たちのSDGsコーナーでは、児童が興味・関心を持った内容について、自分で探究を進められるような展開になっているので、知的好奇心を高めることができます。

さらに、135ページの右下のように、学習の最後に自分の考えをまとめる設定があり、自分ごととして捉え、行動につなげる工夫が見られます。

続いて、5年生259ページの右側の、考えようSDGsのコーナーを御覧ください。森林の学習と関連しているSDGsの内容が示されています。

このように、児童が学習していることと日本や世界の諸課題をつなげて考えられるように工夫されているのが、日本文教の特長です。

次に、資料24ページ、観点エ、ユニバーサルデザインの観点からの配慮です。

まず、東京書籍について説明します。東京書籍の5年生の上、黄色の付箋114ページから123ページまで順に御覧ください。

114ページの左端に「つかむ」、116ページから120ページの左端には「調べる」、121ページの真ん中には「まとめる」、122ページの左上には「いかす」と色分けして、1時間ごとの問いが大きく示されているので、児童が問題解決的な学習の流れの中の、どの場면을学習しているかが意識できるように配慮されています。

続いて、日本文教について説明します。日本文教の5年生、黄色の付箋32、33ページを御覧ください。

32ページの本文の3行目に、読み取ったことから出し合っていますというように、児童が何をすればいいのかが分かるように活動が書かれています。

次に、子供の吹き出しに書かれているところは、児童が考えを持つときの参考になったり、自分の考えと比べたりできるような内容になっています。

そして、ピンクの背景になっているところは、調べるときの文章資料となります。

このように文章を3つに分けたり、その時間の問いを、「沖縄県はどこにあるのだろう。またどんな気候なのだろう」のように、児童の目線に立った文章で書かれたりと、学習の助けとなるように配慮されているのが、日本文教の特長です。

全ての観点の評価結果を20ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、社会の調査・研究報告を終わります。

(長田教育長)

それでは何か御意見、御質問等はございませんでしょうか。

山下委員。

(山下委員)

御説明ありがとうございます。社会科の苦手な先生と申しますか、今度は子供さんたちじゃなくて先生側のほうで、苦手な方、あるいは経験の浅い先生方にとって使い勝手はどういうふうになっているか、少し御説明いただければと思います。

(澤田指導主事)

社会科というのは教科書を教える教科ではなく、教科書を例として児童が問いを解決していくって、教科書はそのための資料の1つとなって、問題解決の学習が進められやすいように各社工夫されております。

では、4年生、各社、取っていただけたらと思います。

東京書籍の34ページ。東京書籍は、左下に学びのポイントというように、この時間でどのようなことを考えたらいいのか、話し合ったらいいのかというようなことが、3年生、4年生には各見開きに書いてあります。5年生、6年生になると、所々の見開きに書かれるようになります。

次、教育出版の50ページを御覧ください。教育出版では、3年生、4年生に活動というものが下に書かれていまして、この時間の学習の流れが書いてあります。こうすることで、先ほどの東京書籍と同じように、この時間何をすればいいのかということが示されています。

次に日本文教ですが、同じように水の学習ところでは、54ページが比べるところになります。日本文教では、活動の流れは示されていません。これは児童が問いをしっかりと持つような流れになっています。

どういうことかといいますと、同じようなレイアウトになっていまして、左上のところが、この時間で子供たちがどういうことかなというふうな問いを持ったりだとか、これからどんなことをするのかというふうなものになります。その後、文章の子供たちの吹き出しであったりだとか、ピンクの文章を読んだりしながら問いを持っていくというふうに、調べ、まとめる、主体的に学べるような展開になっています。

ただ、全ての見開きで同じような展開になっていますので、毎時間同じ流れで、先生が教材研究をしやすい、授業の準備をしやすいというふうな工夫になっています。

以上になります。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

今井委員。

(今井委員)

御説明ありがとうございます。戦争に関する教科書の記載は本当に議論があるところで、法定展示会では市民の皆様の意見にもかなり、いろいろ記載いただいているところなんです。その戦争に関する各社の教科書の、何か特徴とかがございましたら、少し御紹介いただいてもよろしいでしょうか。

(澤田指導主事)

それでは各社6年生の、東京書籍は歴史編になります。東京書籍は129ページになります、129ページから。教育出版は204ページからになります。そして日本文教は、196ページからになります。

各社もちろん検定を通過しておりますので、大きな違いというものはございません。また、各社コラムを入れたりだとか、戦争を体験された方の話を体験談として入れてあるというふうに、戦争について考えられるような工夫が、各社なされています。

また日本文教では、児童、子供たちの顔の吹き出しの中で、いろんなところで子供たちがどうなるのかなとか、そういうふうな学びが深められるようなとか、こんなところを考えてほしいなっていうようなものが示されたりしています。

また、大きな違いとしましては、日本文教の208ページ、209ページを御覧ください。戦場となった沖縄というところで、1見開き1時間の授業が設定されています。ここが、各社の違いとしては大きなところになるのかなというふうに思います。

また、学習のまとまりの中での学習問題というものがあるんですが、戦争の単位では、東京書籍は、長く続いた戦争は社会や人々の生活にどのような影響を与えたのでしょうかというふうなことを学んでいくような学習のまとまりになります。

日本文教は、日本が戦った戦争はどのような戦争だったのだろう、それによって人々の暮らしはどうなったのだろうというふうな人々の暮らしに、この2社は焦点を当てています。

日本文教は、まずは不景気になった戦争の背景から入りまして、不景気を乗り切ろうとした日本はどのような方法を取り、どのような道を進んでいったんだろうというふうな流れに、学習になるようになっていきます。このようなところの違いがあるのではないかなというふうに思います。

また、兵庫県にゆかりのある斎藤隆夫や島田叡が取り上げられているのが、日本文教になります。

(長田教育長)

よろしいでしょうか。ほかにごありますか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

デジタルコンテンツの御紹介をいただいたんですけど、他社さんでもいいですし、社会でのデジタルコンテンツの使い方とか使いやすさについて、何か特徴があれば教えていただきたいなと思います。

(澤田指導主事)

では、デジタルコンテンツについて説明させていただきます。

社会科では、各社手法ツールなども用意されていますが、毎時間の学習端末を利用するというのですね、資料としての動画コンテンツ、プリントアウトして活用するワークシートが主なものとして用意されています。

東京書籍さんのデジタルコンテンツは、それぞれの学びの始めに二次元コードがついておりまして、学習、学びのまとまりの始めに動画を見せることで、学習意欲であったりだとか、これからこのような学習を進めるんだよってというふうなものが特徴となっています。

また、5年生の下の95ページ、〇〇さんの話というふうなところがあります。少しちょっと用意しますのでお待ちください。

このように、これは国土交通省の平田さんの話なんですけど、その方のインタビュー、こういうインタビュー動画があります。

(動画再生)

(澤田指導主事)

このように、授業の中で、どちらかというと前で提示をして見せるというようなことのほうが多いのではないかな、子供たち1人1人が見てというような感じではないのかなと思います。

教育出版社は、5年生の2ページを見てください。「まなびリンクを利用する」とあるんですけど、この中に、真ん中に頭の中に三角だったら動画、ワークシートというふうな、ここからどういったものにつながるのかっていうふうなことが分かりやすくなっていますので、子供たちが学習用端末を照らしたときに、これは資料として使うものなんだとか、これはワークシートとして使うものなんだなっていうふうな、二次元コードを見ながら読み取ることができます。

プラスアルファの資料という、投げ込み資料みたいなものが使われるようになっていきます。また、そういうふうなものがついています。すみません、ちょっとぱっと出てこないで、少しお待ちください。

(長田教育長)

5年生でしたら119ページになりますね。

(澤田指導主事)

これがワークシートというふうになります。各社用意されているんですが、教育出版社はこのようなワークシートがあります。

その次、日本文教ですが、日本文教は教科書紙面の様々な場所に二次元コードがついております。先ほどの戦争のところを見ていただけたらなと思うんですが、教科書の205ページ。これを読み取りますと、様々な動画につながるようになっています。

例えば、この小学生の軍事教練の様子であったり、(動画再生) 音声が少なくなっておりまして、横に説明があります。子供たちが1人1人調べて自分の問いを解決するとき、いろいろな動画資料として使えるようになっている、このような動画がたくさん用意されているのが、日本文教の特長となります。

以上です。

(長田教育長)

ほかにございますか。

国旗とか国歌については、何か各社によって違いはありますか。

(澤田指導主事)

国旗、国歌、これも先ほどの戦争と同じで各社検定を通っていますので、大きな違いはないんですが、まず東京書籍は、5年生上の10ページ、左下の言葉のところに、国旗の説明がついております。また、6年生の政治・国際編の105ページ、ここの中で、国旗と国歌についての解説が載ってあります。政治・国際編の105ページになります。

教育出版ですが、5年生の15ページ。ここで、右ですが、キーワードというところで国旗の説明があります。また、6年生の239ページに日章旗、君が代の説明が詳しく載ってあります。

日本文教ですが、5年生の15ページ、右端ですが、国旗についての説明があります。また、6年生の255ページ、これも日章旗と君が代についての解説が、コラムの中で日章旗(日の丸と君が代)というふうに解説が載ってあります。

少しずつ書きぶりは違うんですが、大きな違いはないのかなというふうには思っております。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

大体領土問題も、今の国旗、国歌に関連して各社とも記載があるという、そういう理解

でよろしいですか。

(澤田指導主事)

領土問題のほうも同じように載っていますが、教育出版の5年生のほうをお取りください。教育出版の5年生の51ページ、北海道とロシア連邦との関係というところで、北海道の学習の中にもロシアとの関係が出てきます。

また、99ページ、この加工工場の高岡さんの話の中でも出てきますし、その上のところの本文にも出てくるんですが、「ロシアが不法に占領している北方領土の島々があり」というところで、学習の中で領土が出てくるというのが、この教育出版社の特徴ではないかと。ほかのところは領土というふうに、5年生の学習の初めのところで出てきます。

(長田教育長)

ほかの2社はどういうところで出てくるんですか。

(澤田指導主事)

5年生の教科書上、14ページを御覧ください。東京書籍の14ページ。領土を巡る問題というふうに、このように記載されています。

次、教育出版社の5年生をお開けください。17ページ、18ページが対象となります。17ページに北方領土、竹島、尖閣諸島がありまして、18ページに固有の領土、竹島と尖閣諸島というふうに記載されております。

また、日本文教5年生の18ページを御覧ください。ここでは、領土を巡る問題ということで、児童が調べるといような活動の中に位置づけられています。

また、6年生のほうにも領土問題が出てきまして、東京書籍の歴史編153ページ、歴史の一番最後のところになるんですが、「これからの日本を考えよう」というところの右ページの中で、周りの国と日本というようなところで出てきます。

教育出版社では、6年生、231ページ。こども同じように、「これからの日本と私たち」の中で、それぞれの解決しなければいけない課題のうちの1つとして取り上げられています。

日本文教では、6年生、224ページをお開けください。この中で、これも日本と国際社会を取り巻く問題の中の1つとしまして、上の日本の領土のところ、224ページの上の資料の中で、領土、領空と排他的経済水域であったりだとか、北方領土、竹島、このようなことや、ピンクの本文の中にも記載されているというふうなことになります。

また、教育出版の6年生に戻っていただけたらなと思うんですが、日本とつながりの深い意味を調べる1つに、中国を調べる学習があります。そこの250ページ左下ですが、尖閣諸島を巡る課題とあり、各国を調べる学習の中にも出てくるというふうに、少し教育出版社が各国を調べたりするときに取り上げられているのが色濃く出ているのかなというふ

うに感じます。

(長田教育長)

ありがとうございました。

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

特にないようでしたら、これから投票を行います。

採択決定の考え方は冒頭に申し上げたとおりです。

投票用紙をお渡ししますので、記入をお願いいたします。

それでは発表いたします。

日本文教出版株式会社、6票。よって過半数を超えておりますので、日本文教出版株式会社の教科書を採択することといたします。

それでは教科書の入れ替えをいたします。

準備はよろしいでしょうか。

それでは地図に参ります。説明をお願いします。

(澤田指導主事)

地図の報告をいたします。資料25ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、東京書籍、帝国書院の2社、2点です。

地図帳は3年生から6年生が使用の対象となっております。

では、調査結果について、共通観点からアからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料27ページの観点ア、知識及び技能の習得のための工夫です。

東京書籍のピンクの付箋、7ページから14ページを御覧ください。

ここでは、「地図のきまり」のページが漫画仕立てになっていて、キャラクターたちが地図をつくるというストーリーで解説されています。児童が興味を持ちやすく、1人で読み進めながら、方位や地図記号、縮尺など、地図帳の使い方を学習できるように工夫されています。

次に、帝国書院について説明します。帝国書院のピンクの付箋、7ページから16ページを御覧ください。

「地図のきほん」と「地図のやくそく」では、地図の成り立ちから地図の約束である方位や地図記号、土地利用まで丁寧に解説されています。また、初めて地図に触れる3年生が理解しやすいように、情報量や文字の大きさなども工夫されています。

続いて前のモニターとピンクの付箋、11ページ、12ページを見比べて御覧ください。方位についての地図の約束をアニメーションで確認することができます。ここではクイズがあり、楽しみながら学習を進めることができます。さらに画面のコンパスを動かすことで、小学校から見て大仙古墳がどの方角にあるかが一目で分かります。

このように、デジタルコンテンツを使って地図活用の技能を習得することができます。

次に資料28ページ、観点イ、思考力・判断力・表現力等を育成できる工夫です。東京書籍の青の付箋、69ページ、70ページを御覧ください。ページの下段に、日本各地の気温と降水量の資料が横一列に並べて提示されています。

続いて、上段の日本地図を御覧ください。グラフで取り上げられている都市が地図上に赤文字で記されているので、グラフと都市の位置をつなげて、各地の気候の特徴を考えることができるように工夫されています。

また69ページの上のほうには冬の、70ページの上のほうには梅雨の衛星写真が掲載されているので、季節による天気の特徴が捉えやすくなっています。

このように、社会科の学習の中で地図帳を活用し、学習が深められるようになっています。

次に、帝国書院について説明します。青の付箋、帝国書院の60ページの右上の資料を御覧ください。

中部地方の南部の地図の端に、濃尾平野の輪中の洪水への備えの資料があります。地図のページの中に資料を示すことで、地図で濃尾平野の位置を確認したり、木曾川、揖斐川、長良川が流れ込んでいることを確認したりできるので、資料と地形的な特徴とをつなげて考えることができます。

続けて、青の付箋61ページを御覧ください。見開き左側です。ここでは、自動車工場の盛んな愛知県として、自動車関連工場の記号が入った拡大図が示されています。関連工場が集まっていることや、港から自動車が積み出されていることに気づくことができ、愛知県は自動車工業が盛んなことが一目で分かるように工夫されています。

このように、地図と関連づけて考えることができるような資料が充実しているのが、帝国書院の特長です。

次に資料29ページ、観点ウ、探究する意欲を高める工夫です。

東京書籍の緑の付箋、97ページから99ページを御覧ください。ここでは、日本の災害発生状況が見開きの地図にまとめられています。いつ、どこでどんな災害が起こったのかが一目で分かるように、写真資料も併せて示されているので、我が国の自然災害発生の特徴をつかみやすいように工夫されています。

次に、帝国書院について説明します。帝国書院の緑の付箋、125ページ、126ページを御覧ください。地図とSDGsの各地の取組とを関連させた資料があります。また、126ページの上のほうは世界地図の中に関係するページが示され、持続可能な社会の実現に向けた課題や取組に興味を持てるように工夫されています。

続けて緑の付箋、99ページ、100ページを御覧ください。日本の自然災害と防災では、日本で起きた主な自然災害が示されています。

続けて、101ページ、102ページを御覧ください。日本で起こった災害だけでなく、防災への取組の資料が充実しており、防災意識を高められるよう工夫されています。

ほかにも、社会科の学習だけでなく、他の教科や家庭学習等でも、児童が興味を持って

地図帳を活用し、探究できるような工夫がなされているのが帝国書院の特長です。

次に、資料30ページ、観点エ、ユニバーサルデザインの観点からの配慮です。

帝国書院の黄色の付箋、57ページ、58ページを御覧ください。ページの中央、長野県付近を御覧ください。土地の高さの色分けが立体的に表され、視覚的に理解しやすいように工夫されています。また、全体的に明るい色合いになっており、見やすくなるように配慮されています。

全ての観点の評価結果は、26ページの一覧表にまとめてありますので御覧ください。

以上で、地図の調査・研究報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、皆さんから御意見、御質問ございましたらお願いできたらと思います。いかがでしょうか。

本田委員、どうぞ。

(本田委員)

御説明ありがとうございます。この地図帳というのは3年生から6年生まで、結構長い間使われるかなと思うんですけど、発達段階に合わせての工夫とかがあれば教えてください。

(澤田指導主事)

それでは説明をさせていただきます。まず、帝国書院のほうをお開けください。

先ほども説明させていただきましたが、この地図の約束の左上のインデックスのところに、3年生の学習というふうに載っています。このように、ここは3年生で学習するんだよというふうなことが示されています。

また、21ページ、22ページから順に御覧ください。広く見渡す地図というふうに、情報量が精選されていまして、すごく見やすく大きくなっていますので、3年生や、また兵庫県、47都道府県を学習する4年生の学習の初めとしては、すごく扱いやすいような地図になっております。

このように、3年生から4年生でも使いやすいように工夫されているのが、帝国書院の特長となっております。

(長田教育長)

よろしいですか、ほか、ございますか。

どうぞ、山下委員。

(山下委員)

御説明ありがとうございます。

最近に限らないかもしれないんですけども、地図が読めないというような子供さんもおられるというようなことがあると思うんですが、こういった点についての工夫っていうのは、両社どういうふうになっているのでしょうか。

(澤田指導主事)

これも先ほど説明させていただいた、まず、両社とも地図が読めない子供たちのために工夫されている1つとしまして、初めに地図の決まりであったりとか、地図はこういうものだよというふうな、東京書籍であったら7ページから14ページ、「空から町を見てみよう」であったりだとか、帝国書院でありましたら7ページから14ページの地図の決まり、このようなものがまず1つ、工夫としてされています。

また東京書籍では、19ページ、20ページを見てください。20ページ、22ページ、24ページの順にめくっていただいたら分かるんですが、沖縄島のところがオレンジのほうになっていまして、さらに赤で九州地方となっていまして、さらにまたオレンジで福岡県とその周りというふうな、地図の縮尺の大きさを表示するときに色で工夫をされているようになっています。このように、地図の大きさで見やすいような工夫になっているというふうなことが見られます。

また、デジタルコンテンツを各社用意しておりまして、先ほど出てきました帝国書院のほうは、このように地図の約束事というふうな形で、たくさん説明がなされています。地図の世界へようこそ、地図って何だろう、方位、地図記号、このようなところのデジタルコンテンツが充実しております。

また、東京書籍のほうも、このように地図を学ぼうというところで、先ほど4方位、8方位、このようなものの使い方が出てきております。こうやって動かしながらクイズ形式で、というふうになっております。

以上です。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

今井委員、どうぞ。

(今井委員)

御説明ありがとうございます。地図で、世界に対してやっぱり興味とか夢を持っていたく、本当にいい機会だと思うんですが、世界地図のところで、子供たちが本当にわくわくしながら見られるような、何か仕掛けとか特徴とかがあったら、各社さん教えていただいてよろしいですか。

(澤田指導主事)

では両社とも、世界のところをお開けください。

東京書籍は55ページから、帝国書院のほうは83ページからとなっていますが、両社とも地図の中にイラストがありまして、特徴的なものが分かるようになっていて、例えば中国でしたら56ページの辺りにパンダのイラストがありました。そのように見ながら、この国はこういうものがあるんだな、というふうなことが見受けられます。

また、東京書籍のほうですが、60ページにはアフリカで生息する主な動物、世界のいろいろな動物たちというふうな動物であったりだとか、その次の62ページに、ヨーロッパのいろいろな料理、世界のいろいろな料理というふうに、料理が載ってあったりします。

帝国書院のほうは、世界の子供たちというふうなところで、幾つかの世界の子供たちが示されていて、自分の国と比べながら、こういうふうな暮らしをしているんだなというものを見たりできます。

そして帝国書院の93ページ、94ページをお開けください。帝国書院は、アメリカ合衆国が1つ取り上げられておりまして、それぞれの州の名前が分かるようになっています。これは、東京書籍のほうにはないページになっているのかなというふうに思います。

また、帝国書院の89ページ、ヨーロッパの中に、アイルランドの下の辺り——中央のアイルランドの下の辺りですが、ハリーポッターのイラストが描かれていて、子供たちの興味を示すような仕掛けも入っています。

(長田教育長)

ほか、よろしいでしょうか。

特にないようでしたら、これから投票を行いたいと思います。

採択決定の考え方は、冒頭に申し上げたとおりです。

投票用紙を渡しますので、記入をお願いします。

それでは発表いたします。株式会社帝国書院、6票。よって過半数を超えておりますので、株式会社帝国書院の教科書を採択することといたします。

それでは教科書の入れ替えを行います。

それでは算数に参ります。説明をお願いします。

(藤本指導主事)

それでは、算数の報告をいたします。資料31ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教の6社、59点です。

では調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料33、34ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」です。

まずは東京書籍について説明します。5年生下巻のピンクの付箋、13ページ、見開き右

側を御覧ください。

東京書籍では、毎時間の授業で行う練習問題が、ページ下の△や◇のように用意されています。ページ右下にある二次元コードを読み取ると、このような画面につながります。前の画面を御覧ください。

例えば△を選択すると、練習問題がデジタルコンテンツ上で示されます。ここに問いの答えを入力します。この問題の場合は、帯分数でも仮分数でも解答ができます。帯分数で答えを求めたとして、正解である4と6分の5を入力します。次に、答え合わせをクリックします。すると答え合わせを行うことができ、右下の「教えて」をクリックすれば、解説を見ることができます。

以上のことから、毎時間の授業において、児童が自らの学習進度に合わせて知識・技能の定着を図るための手立てが充実している点が、東京書籍の特長となります。

次に、啓林館について説明します。啓林館は、全ての主問題について「スマートレクチャー」という解説動画が用意されています。5年生のピンクの付箋、69ページ、見開き右側を御覧ください。

右上の二次元コードを読み取ると、このような画面につながります。前の画面を御覧ください。教科書69ページの部分をクリックすると、主問題の解説動画が始まります。動画を一分程度御覧ください。

(動画再生)

(藤本指導主事)

このように、説明の声に合わせてカーソルが動いたり文字を記入したりと、授業動画のようなつくりとなっています。

このように、「スマートレクチャー」によって、児童が学習したことを振り返ったり、予習に活用したりと、自らの学習状況に合わせて学ぶことができる点が、啓林館の特長となります。

最後に、日本文教について説明します。6年生のピンクの付箋、251ページ、見開き右側を御覧ください。2年生以降の教科書の巻末には、練習問題を集めた「算数マイトライ」が設けられています。

ピンクの付箋252ページ、見開き左側を御覧ください。こちらは、学習した内容の基礎・基本となる問題が掲載されている、「しっかりチェック」です。問題番号が四角の問題は基本的な問題、ダイヤモンドの問題は少し進んだ問題となっており、2段階の難易度別となっています。

続いて、ピンクの付箋264ページ、見開き左側を御覧ください。こちらは、学習した内容を発展させた問題が掲載されている「ぐっとチャレンジ」です。

さらに、ピンクの付箋、274、275ページを御覧ください。こちらは、学習した内容を組

み合わせて解決する活用問題が掲載されている、「もっとジャンプ」です。

最後に、ピンクの付箋、284から287ページを御覧ください。算数マイトライの答えは、このように巻末に全て掲載されています。

以上のことから、児童の学習状況に応じて補充・発展的な学習を行うための機会が充実している点が、日本文教の特長となります。

以上が、観点アについての説明となります。

次に、資料35、36ページ、観点イ「思考力・判断力・表現力等を育成できる工夫」です。

まずは東京書籍について説明します。3年生上巻、水色の付箋、45ページ、見開き右側を御覧ください。

筆算の仕方を考える際には、ページ右下に示されている位取り表を活用します。二次元コードを読み取ると、この位取り表がデジタルコンテンツで用意されています。

前の画面を御覧ください。画面右端にある「数を表示」をクリックすれば、数字の表示・非表示も設定できます。365+472の筆算の仕方を位取り表で考えると、まず一の位で $5+2$ をするので、1の数カードを動かすと7になります。次に十の位で $6+7$ をするので、10の数カードを動かすと、13になります。このとき10の数カードが10個集まると、赤い点線で囲まれて表示されます。最後に、百の位で $3+4$ をするので、100の数カードを動かすと、7になります。ここで位の中に数が10集まると、1つ上の位に繰り上げる必要があります。十の位の中にある赤い点線に囲まれた10個の数カードをまとめて動かすことができます。1つ上の位である百の位に繰り上げると、100という数カード1枚に変化し、百の位は8となります。よって、答えは837であると、筆算の仕方を考えたり説明したりすることができます。

ちなみに、百の位から100の数カードを1枚、十の位に動かすと、10の数カードが10枚に分かれるため、繰り下がりになる計算においても同様に活用ができます。

このように、児童が考えたり説明したりすることに活用できるデジタルコンテンツが充実している点が、東京書籍の特長となります。

次に、大日本図書について説明します。5年生、水色の付箋、27ページ見開き右側を御覧ください。各学年において、じっくり深く学び合おうという学習が設定されています。

次の水色の付箋、28、29ページを御覧ください。ページ上部の黒板の写真のように、問題を解決するために、図や式を用いた多様な方法が示されています。そして、ページ下部に話し合いの流れが示されており、児童が友達の考えを読み取り、比較や検討をする活動が設定されています。

次に、水色の付箋30、31ページを御覧ください。話し合いを通して児童の考えが深まり、黒板の内容も変化していく様子がページ上部の写真で分かりやすく示されています。

このように、対話を通して自らの考えを深めていくための工夫がなされている点が、大日本図書の特長となります。

以上が、観点イについての説明となります。

次に、資料37、38ページ、観点ウ「探究する意欲を高める工夫」です。

まずは東京書籍について説明します。3年生下巻、緑色の付箋14ページ、見開き左側を御覧ください。

こちらは、新しく小数の学習に取り組む最初のページになります。新しい学習に取り組む最初の授業では、日常生活の場面や既習事項を取り上げ、それらについて対話をしていきます。ページ下部中央の「?マーク」が対話のテーマとなります。この対話が、これから新しく何を学ぶのか、児童自身に気づかせていくための工夫となっています。

また、ページ左上に「オープニングムービー」と書かれています。二次元コードを読み取ると、このような画面になります。前の画面を御覧ください。

では、実際のオープニングムービーを御覧ください。

(動画再生)

(藤本指導主事)

このようなオープニングムービーが、3から6年生の各学年で5本ずつ、計20本用意されています。

以上のことから、新しい学習との出会いが工夫されており、児童の知りたい、学びたいという気持ちを引き出すための手立てが充実している点が、東京書籍の特長となります。

次は、学校図書について説明します。

各学年において、「算数をつかって」という学習が設定されており、SDGsの観点から、様々な問題に対して算数を使って取り組む課題が用意されています。

5年生の上巻の緑色の付箋130、131ページを御覧ください。このページであれば、学習した小数のかけ算を使って、フードマイレージについて考える課題となっています。

このように、SDGsの観点から算数と生活との関わりを児童に気づかせ、学んだことを活用するための工夫がなされている点が、学校図書の特長となります。

次は、教育出版について説明します。5年生の緑色の付箋242ページ、見開き左側を御覧ください。

2年生以降「学んだことを使おう」という学習が設定されています。学習したことを、日常生活の場면을想定して活用する問題が用意されています。このページであれば、円の学習を生かして、運動場に100m走のコースのスタート位置をどのように決めればよいかを考える課題となっています。

このように、児童にとって身近な日常生活の場面を取り上げ、算数で学んだことを活用することで何ができるようになったのかを実感できる工夫がなされている点が、教育出版の特長となります。

以上が、観点ウについての説明となります。

次に、資料39、40ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点からの配慮」です。

まず、大日本図書について説明します。1年生2の黄色の付箋、84、85ページを御覧ください。

見開き左側、84ページの左下の二次元コード横には、「12-3のけいさんのどうが」、見開き右側85ページの右下の二次元コードの横には、「ひきざんのれんしゅうもんだい」と書かれています。このように、二次元コードの横にリンク先のデジタルコンテンツの詳細が明記されており、児童が活用しやすいように工夫がなされている点が、大日本図書の特長となります。

次に、啓林館について説明します。1年生すたあとぶっくの黄色の付箋18ページ、見開き左側を御覧ください。10個のブロックを5個ずつ並べて図で表しており、児童が一目で数を認識できるように工夫がされています。

次に、黄色の付箋36ページ、見開き左側を御覧ください。10を2つの数に分ける学習では、ブロックを一行で表記しています。このように、児童の実態と学習内容に応じてブロックの表し方を工夫している点が、啓林館の特長となります。

以上が観点エについての説明となります。

全ての観点の評価結果は、32ページの一覧表にまとめてありますので御覧ください。

以上で、算数の調査・研究報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問等がございましたらお願いをしたいと思います。いかがでしょうか。

正司委員、どうぞ。

(正司委員)

神戸市の子供たちにおける算数教育上の課題ってというのはどういうふうに分けられて、それに合った教科書の特徴みたいなのがあれば教えていただきたいなと思います。

(藤本指導主事)

先日、全国学力・学習状況調査の結果が出ましたので、それを基にお話しさせていただきます。

全国学力・学習状況調査における平均正答率は神戸市が64であり、全国比プラス1.5と、良好でした。ただ、図形領域の平均正答率は、神戸市が49.8で全国比がプラス1.6となっているものの、他の領域に比べると、図形領域は全国的にも課題が見られています。

そこで、文部科学省の国立教育政策研究所が出している全国学力・学習状況調査の報告書によると、図形の観察や操作活動を通して、図形の意味や性質を考えることができるようにすることが大切だということが示されていました。

そして学習指導要領にも、コンピューターなどの活用に、「数量や図形についての感覚

を豊かにしたり、表現する力を高めたりするような指導の工夫が考えられる」と示されており、具体物だけではなく、デジタルコンテンツを活用して図形を操作していく中で、子供が試行錯誤しながら考えたり、自分の考えを表現したりしていくことが効果的であるということが分かっています。

その上で、例えば観点イについて◎がついている、東京書籍を例にして説明させていただきます。東京書籍5年生下、49ページをお開きください。

三角形の面積の求め方を考える学習の際に、図形を操作できるデジタルコンテンツが用意されています。前の画面で映し出しますので、少々お待ちください。こちらになります。

三角形を既習の図形に変形させることで、面積の求め方を考えます。例えば、この三角形を長方形に変形させて面積の求め方を考えようとした場合に、まずこの三角形をコピーします。その後に2つに切って、それぞれをこのように回転させます。回転させた後に図形を動かして、長方形に変形させます。

なお、東京書籍のコンテンツにつきましてはペンの機能がついているので、ここに子供が6センチというふうに、自分の考えを表現することも可能となっています。

このような面積の求め方を考えるために図形を操作できるデジタルコンテンツは、会社ごとに操作の自由度や変形機能の有無など違いはありますが、東京書籍、大日本図書、教育出版、啓林館、日本文教においては用意されています。学校図書につきましては、この操作のアニメーションのデジタルコンテンツがついております。

以上です。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

どうぞ。

(山下委員)

小学校から中学校につながるころ、そういったところで各社どんな工夫がなされているか、もしお分かりでしたら少し教えていただきたいと思います。

(藤本指導主事)

中学校との接続におきましては、各社中学校との接続を見通した特設ページを設けております。

例えば、東京書籍の6年生、220ページをお開けください。こちらには「算数卒業旅行」という特設ページがあり、「中学校体験入学コース」というものが設けられています。同様のものが、各社6年生の最後に設定されています。

また学校図書には、6年生に別冊として「中学校へのかけ橋」というものが用意されています。御覧ください。

少し薄いものになります。学校図書の6年生です。6年生の教科書に、薄い別冊がついています。そちらのほうの別冊で、小学校の算数で学んだことを振り返ったり、中学校の数学について触れたりする機会を別冊として設けている出版社もあります。

また、系統性が分かる工夫としましては、東京書籍と大日本図書と学校図書、3社の6年生の教科書を出していただいでよろしいですか。東京書籍、大日本図書、学校図書の3社です。

この東京書籍、大日本図書、学校図書の3社の目次をそれぞれお開きください。この3社につきましては、目次に学習する前の内容と後の学習がそれぞれ示されています。

特に東京書籍と大日本図書については、その学習内容が具体的に書かれているので、より系統性が分かりやすい工夫がなされていると言えます。

以上です。

(長田教育長)

ほかにございますか。

今井委員、どうぞ。

(今井委員)

御説明ありがとうございます。先ほど御紹介いただいた啓林館の「スマートレクチャー」をデジタルで流していただいて、確かに解説、すごく分かりやすくおっしゃってくださって、普通に授業が受けられていたらいいかもしれないんですけども、なかなか長期お休みになってるお子さんとか、お体の調子とかで、そういうお子さんにとっては、家でも、もしかしてああいうふうに見て理解できるのでいいのではないかなと思ったんですけど、ほかのところでは、そういう解説動画っていうのはないということになるんですか。

(藤本指導主事)

啓林館の「スマートレクチャー」のように、授業動画のような解説があつたり同じように文字が記入されたりするところは、ありませんでした。

ただ大日本図書につきましては、1年生の26ページ、1年生2の26ページの右下に、「学習のサポート」というものの二次元コードがあると思います。こちらに学習した内容を振り返る動画が用意されています。

一度、前に映させていただきます。こちらの二次元コードを読み取りますと、このような形で学習のサポートっていうページが出てきます。例えば、教科書の21ページを開けていただいたらと思うのですが、21ページの学習を振り返る動画が用意されています。

(動画再生)

(藤本指導主事)

というように、教科書の挿絵を使いながら解説をするというものが用意されています。

あともう1点、教育出版社の5年生、238ページをお開けください。

教育出版社につきましては、各学習のまとめ、238ページであれば円周率っていうところのまとめが書いてあるかと思います。この横に二次元コードがあります。そちらのほうを読み取りますと、このような画面につながります。再生させていただきます。

(動画再生)

このように、こちらは音声はありませんが、まとめを動画で振り返るというものが用意されています。

以上になります。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

算数の授業の中で、プログラミングに関することとか、その辺りについて、どんな扱われ方なんでしょうか。

(藤本指導主事)

プログラミング教育については、各社取扱いをしております。学習指導要領には、コンピューターの活用のところで5年生の図形の、正多角形の作図を行う学習というものが例示をされています。その例示をされている部分に関しましては、各社漏れなく設定をされている状況となっています。

あとは、出版社によっては1年生から系統的にしている会社もあれば、学習指導要領にのっとったもので充実させている会社等、いろいろあります。

(長田教育長)

よろしいですか。ほかにございますか。よろしいでしょうか。

特にないようでしたら、これから投票を行いたいと思います。

採択決定の考え方は冒頭に申し上げたとおりです。

それでは投票用紙をお渡ししますので、記入をお願いします。

それでは発表いたします。

東京書籍株式会社、5票。株式会社新興出版社啓林館、1票。よって過半数を超えてお

りますので、東京書籍株式会社の教科書を採択することといたします。

それでは、午前の会議はこれで終了といたします。

午後は12時40分、12時40分開始とさせていただきます。

それでは昼休憩に入ります。

(休憩)

(長田教育長)

それでは教育委員会会議を再開いたします。

午後は理科ですね。それでは説明をお願いします。

(鷲尾指導主事)

理科の報告をいたします。資料41ページをお開けください。

調査研究の対象となる教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信州教育出版社、啓林館の6社、24点です。

では、調査結果について、共通観点ア～エ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料43ページ、観点ア、「知識及び技能の習得のための工夫」です。

東京書籍3年生の教科書を御覧ください。ピンクの付箋113をお開けください。

右ページには、「問題」として、「音が伝わる時、音を伝えているものはふるえているのだろうか。」と示され、下にはそれを確かめるための実験が掲載されています。

次のページをめくって御覧ください。中央に「まとめ」として、実験を通して分かったことが書かれています。そこから、「広げよう理科の発想」というコーナーに矢印がつながっており、一番下には、「右のものを使って友達との会話に参加するにはどうしたらよいのでしょうか。」との問いかけがあります。このように、東京書籍では「まとめ」で学習が途切れないよう、さらに学びを広げられるように、内容が工夫されています。

付箋172のページを御覧ください。1年間の学習内容がまとめられています。

また、「理科ノート」と書かれた二次元コードから、穴埋め問題のようになったワークシートがダウンロードできます。画面を御覧ください。このようなワークシートです。東京書籍だけの特徴として、全授業時間に対応したワークシートが利用可能であり、知識・技能の習得のために活用することができます。

次に、大日本図書、3年生の教科書を御覧ください。付箋83のページをお開けください。

右ページに、実験を通して分かったことがまとめられています。そしてその下には、それを生かした「ものづくり」の活動が設定されています。このように、理解をより深いものにするために、「ものづくり」の活動が多く設定されているというところが、大日本図書の長所です。

次のページをめくって御覧ください。学習内容に関する設問があります。大日本図書で

は、左下の二次元コードのコンテンツから児童が自分で答え合わせをできるため、知識・技能の習得に役立ちます。

続いて、啓林館3年生の教科書を御覧ください。ピンクの付箋158のページをお開けください。

左ページに学習内容に関する設問がありますが、啓林館だけの特徴として、右下の二次元コードから動画による解説を見ることができます。画面を御覧ください。

(動画再生)

(鷲尾指導主事)

このように、分からない問題があった場合に児童が自分で確認することができます。

次に、資料45ページ、観点イ、「思考力・判断力・表現力を育成できる工夫」です。画面を御覧ください。

学習指導要領では、問題解決の力として、異なる点である「差異点や共通点を基に、問題を見いだす力」や、「既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力」などを育成するように示されています。

東京書籍4年生の教科書を御覧ください。青の付箋、79ページをお開けください。見開きで、半月が見えている写真と見えない写真が2枚並んでいます。

次のページをめくって御覧ください。上のほうに、疑問に思ったことを出し合う児童の発言例があります。2枚の写真を比較できるようにしていることは、「差異点や共通点を基に、問題を見いだす力」を育むための効果的な工夫といえます。

また、その右下に、話合いの例と書かれた二次元コードがあります。ここからはさらに詳しい児童の発言例を見ることができます。画面を御覧ください。

(コンテンツ再生)

(鷲尾指導主事)

このように、吹き出しをタップするごとに次のセリフが現れます。問題の見いだしが難しい児童への支援になります。

さらに、教科書右下の「デジ活」と書かれた二次元コードからは、このようなコンテンツにアクセスできます。

(コンテンツ再生)

1時間後の月と2時間後の月がどう変わるのか、実際に動かして考えることができます。これによって、自分の予想をはっきりさせたり、お互いの考えを共有して話し合ったりし

やすくなります。

このように、デジタルコンテンツや詳しい児童の発言例などによって、問題の見だし、予想、計画などの思考を促す効果的な工夫がなされているという点が、東京書籍の大きな特長です。

次に、啓林館4年生の教科書を御覧ください。青の付箋、66のページをお開けください。1枚の月の写真が掲載されています。次のページをめくって御覧ください。上に児童のイラストがあり、話合いの例が示されています。また、右ページにある予想のところにも、児童の発言例が吹き出しで示されています。啓林館では、これらの発言例により、児童の思考を促しています。

次に資料47ページ、観点ウ、「探究する意欲を高める工夫」です。東京書籍6年生の教科書を御覧ください。緑の付箋、45のページをお開けください。

東京書籍の特長は、「人」にスポットを当てたコラムが多いということです。人体についての学習の後には、内科医と外科医の方の話が掲載されています。職業という視点から、理科の学習の価値を感じられます。学びを社会や人生に生かそうとする意欲につながる工夫と言えます。

次に、大日本図書6年生の教科書を御覧ください。緑の付箋50のページをお開けください。左ページです。人の体について学んだ後、「深めよう」として、ほかの動物の血液を観察する方法が紹介されています。また、右の51ページ、さらにめくって52ページ、53ページと、たくさんの資料が掲載されています。

このように、児童が興味を持ち、学習したことを深めてみたいと思えるような資料がとても豊富であるという点が、大日本図書の特長になります。特にSDGsや発展的な「ものづくり」に関する内容の資料が多い点も特長です。

続いて、啓林館6年生の教科書を御覧ください。緑の付箋、170のページを御覧ください。

啓林館の教科書にも様々な資料が掲載されていますが、日常生活との関連を図る内容のものが多くという点が特徴です。ここでは、様々な分野で活躍する「てこ」が紹介されています。理科の学びを生かして、生活をよりよくしようとする意欲につながる資料と言えます。

次に、資料49ページ、観点エ、ユニバーサルデザインの観点からの配慮です。

先ほど御覧いただいた東京書籍4年生の教科書を、もう1度御覧ください。東京書籍の教科書はA4判で大きめにつくられています、かなり軽量です。全学年の合計の重量は、啓林館に次いで2番目の軽さです。

また、裏表紙を御覧ください。ここに学習内容や理科の調べ方の目次があります。問題解決の途中では教科書を閉じていることが多いのですが、この目次によって必要な情報を児童が素早く見つけることができます。

黄色の付箋、106のページを御覧ください。二次元コードが様々な場所に掲載されてい

ます。

東京書籍に掲載されている二次元コードは、全て吹き出しの形で示され、大まかな内容がそばに記載されています。読み取らなくても大体の内容が分かるため、児童が迷わず探すことができます。

最後に、先ほど御覧いただいた啓林館4年生の教科書をもう1度御覧ください。装丁がA B判と小さめで、全学年の合計の重量は6社の中で最軽量です。そのため、児童にとって扱いやすく、持ち運びもしやすい点が、啓林館の特長です。

黄色の付箋、111のページを御覧ください。理科室の使い方のページです。実験における注意点を間違い探しの形で示すことで、児童が直感的に理解できるよう工夫されています。

全ての観点の評価結果は42ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、理科の報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、何か御質問、御意見ございますでしょうか。

どうぞ、今井委員。

(今井委員)

御説明ありがとうございます。理科はやっぱり実験もすごく大事だと思うんですけど、デジタルコンテンツで実験の手順とか、多分本来だったら先生が初めに見せていたようなものが、うまくデジタルコンテンツの動画を使って授業にも取り入れられたら、生徒たちも分かりやすいかなと思うんですけども、そういう、いい動画とかがあれば少し御紹介いただきたいのと、あと、実験には結構危険を伴うので、そこにしっかり注意を払うようになってというのが教科書で特徴的に書かれているところがあったら、少し教えていただきたいと思います。

(鷲尾指導主事事務局)

デジタルコンテンツでの実験方法であったりとか器具の扱い方についての動画での解説は、ほとんどの教科書で行われています。その点は本当に各社とも充実してきているというところです。

また実験方法については、各社とも分かりやすく手順が示されています。それぞれ大きな違いは無いですが、特徴があります。

啓林館6年生、117ページを御覧ください。ここに、別の方法ということで幾つか実験方法が載っています。啓林館は非常に自由度が高いということが特徴になります。多様な実験方法が示されていますので、経験豊富な教員であれば多様な授業展開を想定することができます。

次に、東京書籍6年、83ページを御覧ください。東京書籍は、同じような場面のところなんですけれども、極力シンプルに示されているということが特徴です。ですので、経験の浅い教員でも授業がしやすいという特徴があります。

続いて、大日本図書の6年生、99ページを御覧ください。大日本図書も実験方法は1つだけ示されています。このように比較的シンプルに示されていることが多いということになります。

それから、安全面についての記載です。東京書籍3年生、103ページをお開けください。それから、啓林館3年生、115ページをお開けください。どちらも虫眼鏡についての安全面の注意事項を掲載しています。

啓林館のように、「注意」と示すよりも、東京書籍のように率直に「危険」と示すほうが分かりやすいという御意見を、評価委員会でもいただいています。この辺の安全面についての記載の違いが、特徴として出ているかと思えます。

(長田教育長)

ほかにございますか。

どうぞ。

(山下委員)

先ほどの御説明とちょっと重なるかもしれないんですが、理科でも、教科書自体は、話し合い活動をやったり大分中心に組んでいただいているなと思うんですけども、そういったことを指導する上で、もし追加で特徴的な記述があるようでしたら教えていただきたいと思えます。

(鷲尾指導主事)

理科でも、話し合い活動というのは大変重視しているところです。各問題解決の過程として、先ほど言いました予想、計画、問題の見だしといったような、各場面で子供たちの話し合い活動というのが図られると思えます。

私たちが理想とする授業の形として、「主体的・対話的で深い学びのある授業」というのを目指しているところであります。それを目指すためには、理科の見方・考え方を働かせることが重要だと言われております。

その見方・考え方についての記載をちょっと比べていただきたいと思えます。東京書籍5年生、95ページをお開けいただけますか。ここに、食塩を入れたティーバッグをビーカーの水に沈めて、食塩が溶けていく様子を観察している様子が掲載されています。

東京書籍では、右下のパンダのキャラクターとともに、見方・考え方に関係する言葉が書かれています。「ティーバッグの中に入れた食塩はどこにあるのかな」という問いかけです。これは、「質的・実体的な見方」と言われる見方なんですけれども、これによって

児童は、「溶けた食塩は見えないけれど、水の中に存在するのかな。消えてしまったのか。いや、外に出ていったのか。」などと、深く考え始めます。このような疑問によって、話し合いが活発化されるということが1つあると思います。

また、啓林館5年生、140ページを御覧ください。同じような場面なんですけれども、啓林館では、長い筒の水の中に食塩を入れて、溶ける様子を観察しています。

啓林館では、児童が見方・考え方に関係する発言を次のページでしています。142ページのところに児童の発言例があるんですけども、ここに緑のラインが引かれていると思います。このラインは見方・考え方に関係したものに引かれているということになります。これによって、児童も教師も見方・考え方を意識して学習を進めていくことができます。

大日本図書にも見方・考え方に関係する発言の例があります。これは児童の吹き出しとして書かれています。

以上です。

(長田教育長)

他、いかがでしょうか。

どうぞ、本田委員。

(本田委員)

御説明ありがとうございます。どの教科書も大変工夫されていると思うんですけども、この神戸市の子供たちの課題に合わせて考えるっていうところで、御意見聞かせていただけますか。

(鷲尾指導主事)

昨年度、令和4年度に行われた全国学力・学習状況調査において、「観察・実験の進め方や考え方が間違っていないかと振り返って考えること」について、神戸市で課題が見られました。その点について比べていただきたいと思います。

東京書籍5年、144ページを開けてください。この場面は、振り子が往復する時間、ゆっくりか早いかということですね、この時間は何によって変わるのかということ調べている場面になります。子供たちは、「おもりの重さで変わるんじゃないか。」「振り子の長さで変わるのか。」「それとも振れ幅で変わるのか。」などと、いろんな予想を立てて実験を続けています。

このページでは、重さだけを変えて一往復の時間が変わるのかどうかを確かめようとしています。中央の「○」と書かれたおもりのつるし方では、重さだけが変わります。しかし、「×」と書かれたつるし方をしてしまうと、もちろん重さも変わるんですが、振り子の長さも変わってしまいます。ということで、このようなつるし方をすると、実験結果はどのような原因で起こったのかが、一体何のためなのかが分からなくなってしまうという

ことになるんですね。

ここでパンダのキャラクターが吹き出しの中で、おもりを上下につるさないようにするのはどうしてかなと問いかけます。この、一旦立ち止まって考えることが重要だと考えています。

さらにめくっていただいて、147ページを御覧ください。ここでは、それぞれの班の結果をシールに貼ってグラフに表しているんですけども、「自分の班だけ結果が違うぞ。」というような例が示されています。これも、自分の班の実験方法は間違っていないかということを振り返るきっかけになる記載だと思われます。

啓林館5年生、130ページを御覧ください。啓林館でもこの点は記載されております。おもりを縦につながらないというふうに書かれています。スムーズに実験を行うための記載だと思われます。

続いて132ページですが、ここは各班の結果を整理したところです。想定どおりの結果が示されています。実験をスムーズに進めるということが意識された掲載のされ方であると思われます。

以上です。

(長田教育長)

ほかにございますか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

説明で少し触れられたと思うんですけど、SDGsの観点、理科教育のところで、何か情報があれば教えていただきたいんですが。

(鷲尾指導主事)

SDGsに関しては、各社とも関連するコラム等がとても多く掲載されております。特に大日本図書と東京書籍に多くの記事が掲載されています。大日本図書、6年、201ページを御覧ください。大日本図書では、SDGsに関するコーナーが設けられています。様々な資料を活用して授業が考えられるように工夫をされています。この201ページからちょっとページをめくっていただいたら、様々な記事が掲載されていることが分かるかと思ひます。

では次、東京書籍6年、9ページを御覧ください。東京書籍では、年間を通してSDGsについて考えられるように、どの学年にも巻頭にSDGsについて記載があります。

それから同じ教科書の180ページからを御覧いただけたらと思うんですけども、具体的な活動として、182ページにございます行動宣言書をつくるなどの、具体的な学習が設定されているのが1つの特徴です。

さらに啓林館6年生、8ページをお開けください。啓林館では、「地球のために、未来のために」として、巻頭にSDGsの記載があります。

また、202ページをお開けください。巻末にも、「サステナブルな未来へ」というコーナーが設けられています。

このように各社SDGsについて、工夫を凝らして掲載されているところになります。以上です。

(長田教育長)

ほか、よろしいでしょうか。

どうぞ。

(吉井委員)

神戸ということもあって、防災・減災のことについては、大切にしたいところですので、教科書の中で示していただければありがたいなと思うんですけども、そういう事例があれば、ぜひ説明をお願いします。

(鷲尾指導主事)

震災を経験した神戸市としては、理科の授業においても防災教育には力を入れております。

啓林館、6年生、142ページを御覧ください。この後ちょっと記事が続いていくんですけども、啓林館でも災害の資料が多く掲載されています。兵庫県南部地震、阪神・淡路大震災についても大きく掲載されております。それからページを進んでいくと、「ウィイズアース」いうコーナーで、防災についても詳しく触れられています。このように、兵庫県南部地震について大きく取り上げられているのが、啓林館の特徴になります。

それから東京書籍6年生、112ページを御覧ください。東京書籍では、まとめからつながる形で、「考えよう」として、どんな災害が起きそうかということ話し合う活動、それから自分たちに何ができるかを話し合う活動などが設定されています。この次の114ページのところにも、具体的な、子供たち自身が主体的に考えられるような活動が設定されているというのが、東京書籍の特徴になります。

さらに大日本図書6年生、146ページを御覧ください。146ページから149ページにわたって、やはり大日本図書にはとてもたくさんの資料が掲載されています。この資料によって、防災について関心を持って学べるように工夫されています。

このように、各社防災について工夫されております。

以上です。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

特に無いようでしたら、これから投票を行いたいと思います。

採択決定の考え方は、冒頭に申し上げたとおりです。

それでは投票用紙をお配りしますので、記入をお願いします。

それでは発表いたします。東京書籍株式会社、4票。新興出版社啓林館、2票。よって過半数を超えておりますので、東京書籍株式会社の教科書を採択することといたします。

それでは教科書の入れ替えをいたします。

準備はよろしいでしょうか。

それでは次に、生活に参ります。説明をお願いいたします。

(奥井指導主事)

生活の報告をいたします。資料51ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、信州教育出版社、光村図書、啓林館の7社、14点です。

では調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料53ページ、観点ア、知識及び技能の習得のための工夫です。

まず、東京書籍の上をお取りください。ピンクの付箋28、29ページを御覧ください。

「花を咲かせよう」の、「種をまこう」の学習では、28ページの左側に、アサガオをはじめ7種類の植物の種、花が並んで示されており、児童が見比べやすいものとなっています。

ページをめくっていただき、30ページを御覧ください。先ほどのページと重なることによって、各花の種と芽が並んで示されています。

さらにページをめくってください。32ページが重なることで、花の種類ごとに種から花への生長が示されています。児童にとって、植物の生長過程が分かりやすくなるように工夫がされています。

各社、種や花等の紹介がありますが、ページの幅を工夫することで、生長過程を一目で見比べる工夫は、東京書籍だけとなっております。

次に、学校図書の下をお取りください。ピンクの付箋46、47ページを御覧ください。

「私の野菜畑」の物知りノート、野菜の育て方の学習では、11種類もの野菜の育て方が示されています。また、野菜の世話の仕方のヒントが記載され、児童の知識・技能の習得に生かされる工夫がされています。

次に、啓林館の下をお取りください。ピンクの付箋18、19ページを御覧ください。

「大きく育て私の野菜」の、「世話をしよう」の学習には、野菜を育てる活動を通して児童が気づきの質を高めるために、前よりも大きくなっているよ、細かい毛が生えているよという野菜の生長に関する吹き出しや、これは何かな、どうしたらいいのかなという疑問に関する吹き出しが多く使用されています。また、吹き出しの内容が短い言葉で表記さ

れているために、読みやすく、視点を絞った観察等の活動が行いやすくなっています。

ページをめくっていただき、50、51ページをお開きください。ほかの学習のまとめりでも吹き出しは多く見られ、児童の知識や技能の習得につながるような工夫がされています。

次に、資料55ページ、観点イ、思考力・判断力・表現力等を育成できる工夫です。

まず、東京書籍の上をお取りください。青の付箋、40、41ページの、「校庭で夏を探そう」を御覧ください。ページをめくっていただき、64、65ページ、「校庭で秋を探そう」を御覧ください。さらにページをめくっていただき、88、89ページ、「校庭で冬を探そう」を御覧ください。どのページも、同じ場所で違う季節のイラストが用いられています。児童が季節ごとの違いを同じ場所で比べる、予想するなどといった活動を行うことを通して、思考力・判断力・表現力等の育成を図っています。

次に、光村図書の下をお取りください。青の付箋、別冊8、9ページを御覧ください。巻末についている広がる生活事典の8、9ページには、記録の取り方とインタビューの仕方が示されています。

ページをめくっていただき、10、11ページを御覧ください。こちらには、連絡の取り方と発表の仕方が紹介されています。さらにページをめくっていただき、12、13ページを御覧ください。こちらには、まとめ方が紹介されています。

それぞれの内容が整理され、この別冊に集約されています。児童にとって分かりやすいだけでなく、思考力・判断力・表現力等の育成につながる工夫となっています。また、別冊だけを持って活動することも可能になっています。

次に、啓林館の上をお取りください。青の付箋、112、113ページを御覧ください。

「もうすぐ二年生」の、「できるようになったことを集めよう」の学習では、これまで学習してきたことを振り返ったり、それを整理したりするために、112ページに、キーワードになる言葉をつなげていく方法「ウェビング」や、113ページに、付箋に書いた内容をグループ化していく方法、KJ法が用いられています。特にKJ法は、できるようになったことを児童自身が整理していく活動を通して、分類するなど、分析して考える力の育成につなげることができます。

啓林館の下をお取りください。青の付箋、121ページを御覧ください。こちらには、ピラミッドチャートなどが紹介されています。このように、啓林館では思考力・判断力の育成につながる方法のページが多く取り上げられております。

次に、資料57ページ、観点ウ、探究する意欲を高める工夫です。

まず、東京書籍の下をお取りください。緑の付箋74、75ページを御覧ください。

子供たちがまち探検を通して見つけたことを発表している場面が紹介されています。どうしてくり変わったのかなという友達のつぶやきが起点になり、ページ下の「学びを深める」を御覧ください。子供たちは話し合い活動を行い、もう1度まち探検を実施していくことを決める展開となっています。児童の思いや願いに即した探究活動例が示されています。

ページをめくっていただき、76、77ページを御覧ください。再訪問した際のインタビューの様子や、店の方の思いが示されています。

ページをめくっていただき、80、81ページを御覧ください。ここからは、まち探検を通して地域の人への思いを高めた児童が、地域の方のためにできることを考えていく学習のまとめりです。ここでも話し合い活動やまち探検を行いながら、地域のよさを発信していくまでのプロセスが丁寧に扱われております。

次に、大日本図書の上をお取りください。緑の付箋、22、23ページを御覧ください。

「みんな仲よし」の、「学校と仲よくなろう」の学習では、過去の校長の写真やピアノの内部の写真が使われていることで、何かな、どこにあるのかな、探してみたいという気持ちを生徒に持たせることができ、1年生の学びの意欲を高めて学習が進められる工夫がされています。

次に、教育出版の上をお取りください。緑の付箋、24、25ページを御覧ください。

「きれいにさいてねわたしのはな」の学習の導入では、24ページに子供たちの活動の写真があり、25ページには児童がこれまでの生活経験を振り返りながら課題を見つけていく、「わくわくスイッチ」が設けられています。わくわくスイッチに取り組みながら、児童自身で課題を設定する工夫がされています。

ページをめくっていただき、40、41ページを御覧ください。ほかの学習のまとめりでもわくわくスイッチが設けられ、継続的に児童が課題を設定する工夫がされています。

次に、啓林館の下をお取りください。緑の付箋、4、5ページを御覧ください。

4ページの左上のインデックスには、「わくわく」とあり、学習の導入を表しています。ページをめくっていただき、6ページを御覧ください。6ページの左上のインデックスは「いきいき」となっており、主な活動を表しています。さらにページをめくっていただき、8ページを御覧ください。8ページの左上のインデックスは「ぐんぐん」となっており、表現活動を表しています。

このわくわく、いきいき、ぐんぐんの学習の流れは、探究的な学習の流れといえます。上下どちらの教科書を見ていただいても、全ての学習のまとめりでこの学習の流れとなっており、生活科全体を通して、探究的な流れで学習できるように工夫がされています。

また児童にも、今学んでいるのが、わくわく、いきいき、ぐんぐんのどこなのか、インデックスをつけることで視覚的に捉えることができるように配慮がされています。

次に、資料59ページ、観点エ、ユニバーサルデザインの観点からの配慮です。

まず、光村図書の上をお取りください。黄色の付箋110ページの、右側の巻末資料を御覧ください。

「大好き探しに出かけよう」の、春の仲間たち等の資料が厚紙でフィルムがかけられており、教室外での活動でも使用しやすくなっています。また、切り取って使うものはシン目が入っており、切り取りやすくなるような配慮がされています。

次に、啓林館の上をお取りください。黄色の付箋、巻頭別冊2、3ページを御覧ください。

い。スタートブックのページ数を表す数字には、ふりがながあります。

ページをめくっていただき、4、5ページを御覧ください。ページの数字が風船の色で分けられています。入学直後の児童にも分かりやすくなるような工夫や配慮がされています。

全ての観点の評価結果は、52ページの一覧表にまとめてありますので御覧ください。

以上で、生活の調査・研究報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問ございますでしょうか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

3年生以降の強化へのつながりってという視点で、何か特徴があれば教えていただきたいんですけれども。

(奥井指導主事)

まず啓林館の下です。巻末に3年生のステップブックというものがついております。こちらをめくっていただきますと、これまでの学習が次の3年生の学習にどうつながっていくのかということや3年生の活動が7ページにわたって紹介されています。また、これがすごろくのようになっておりますので、子供たちも楽しみながら見ることもできるのではないかと考えております。さらに学習図鑑には、3年生以降でも使える学習のヒントがまとめられています。

大日本図書の下になります。巻末の学習の道具箱をお開きください。こちらをめくっていただきますと、3年生以降でも使える学習のヒントがまとめられています。特に3年生の社会の学習で地図をつくる学習がありますが、そのヒントになる資料が、記載されています。

続いて東京書籍の下、80ページの「つながる・ひろがる」の学習では、こちらでも様々な伝える方法、まとめ方があります。83ページでは、伝え方を考えようというところで、新聞にまとめたりポスターにまとめたり動画をつくったりというように、3年生以降にもつながるような学習のページが紹介されています。

各社そうなのですが、理科の接続という意味では、動植物を育てるということをきちんと取り入れられていますし、社会科では、学校探検やまち探検ということもきちんと取り上げられています。また総合では、リサイクルであったり、SDGsという面も取り上げられています。

以上です。

(長田教育長)

ほか、ございますでしょうか。

どうぞ、本田委員。

(本田委員)

御説明ありがとうございます。デジタルコンテンツで、各社、何か特徴的なところとかあれば教えていただけますか。

(奥井指導主事)

他教科に比べますと、生活科は1・2年生の教科になりますので、その分量は、やはり少ないかなと思っております。

少しですが、紹介させていただこうと思います。

こちらは啓林館のデジタルコンテンツになります。秋見つけの1年生の学習になりますが、こういったドングリの紹介を細かく表示されています。その中の1つ、「もっと見る」を選ぶと、そのドングリについてさらに詳しく表示されるように工夫されております。

ほかにも大日本図書では、このように一覧という形で表示がされております。ここをクリックすると、その実際の写真が出てくるというところになっております。

また1年生では工作を主にすることもあると思いますが、工作につきましては、こちらは啓林館のものになりますが、このように1つずつ作り方が載っており、クリックしますと再生されます。

(動画再生)

(奥井指導主事)

このように1つずつの種類を紹介されているものがあります。こちらが学校図書になりますが、先ほどと同じようになっています。大日本図書は1つずつ分けられているのではなく、全体として紹介するという形になっております。

(動画再生)

(奥井指導主事)

このようなデジタルコンテンツが、1年生、2年生の教科書に記載されております。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では特にないようでしたら、これから投票を行いたいと思います。

採択決定の考え方は冒頭に申し上げたとおりです。

投票用紙をお渡ししますので、記入をしてください。

それでは発表いたします。株式会社新興出版社啓林館 5 票、東京書籍株式会社 1 票。よって過半数を超えておりますので、株式会社新興出版社啓林館の教科書を採択することといたします。

それでは教科書の入れ替えをいたします。

準備はよろしいでしょうか。続いて音楽です。

それでは説明をお願いします。

(山越指導主事)

音楽の報告をいたします。資料61ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、教育出版、教育芸術社の 2 社、12点です。

では調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料63ページ、観点ア、知識及び技能の習得のための工夫です。教育出版 3 年、ピンクの付箋ア、18ページをお開けください。

児童がリコーダーと初めて出会うページです。左の18ページで楽器について知り、右の19ページでは、鑑賞して音色を味わいます。そして次の20ページで、1つの音のみでの演奏をします。右21ページの右下にある二次元コードや写真、挿絵などでお手本が示され、吹き方のイメージがつかめるようになっていきます。次の22ページ以降は、1つずつ音を増やしながら、スモールステップで無理なく技能を習得したり、定着したりするように工夫されています。

それでは20ページの動画を再生いたしますので、画面を御覧ください。

(動画再生)

(山越指導主事)

このように、吹き方のポイントを、児童が見たいときにいつでも見られるようになっていきます。

次に、教育芸術社 2 年、ピンクの付箋ア、42ページをお開けください。

ここでは、上半分はイラストで、遠くからやってきてやがて去っていくという音楽の様子が表されています。さらに下半分では、図形による楽譜で音の高さ、長さ、つながり方などの旋律の特徴がつかめるようになっていきます。

43ページ右上の二次元コードで、それぞれの旋律を聴くこともできます。では、画面を御覧ください。

まず、1つ目の旋律です。

(動画再生)

(山越指導主事)

もう1つの旋律です。

(動画再生)

(山越指導主事)

このように確認することができるようになっています。

また、5年の教科書ピンクの付箋ア、20ページをお開けください。ここでは、より複雑になった図形楽譜、二次元コードによる音源のほか、曲名の下にもあるように文字でも音楽の特徴が示されるなど、より多様な角度から音楽の特徴を捉えたり、感じ取った曲想と関わらせたりできるようになっています。

図形楽譜は、音楽を形づくっている要素を視覚的に捉えることができるため、児童が音楽科の学習の基本である音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉えるために、大いに参考になります。この図形楽譜が充実していることは、教育芸術社の大きな特徴の1つです。

次に資料64ページ、観点イ、思考力・判断力・表現力等を育成できる工夫です。

教育出版6年、水色の付箋イ、33ページをお開けください。右ページの上にあるコンパスのマークのついた赤い枠が、「まなびナビ」です。ここには、音楽のどんな特徴に注目するか、何を工夫したり注意したりしながら歌うのかなどの学び方が示されています。

また同じ6年の教科書の水色の付箋イ、19ページをお開けください。左ページの下にもありますように、学び合う音楽として、挿絵や二次元コードを含め、「まなびナビ」よりさらに詳しく学習の流れがまとめられた教材もあります。

次に、教育芸術社6年、水色の付箋イ、20ページをお開けください。左右4ページの上にある「考える」のコーナーでは、何を考え、どのような活動につながるのかが、具体的に示されています。

20ページには、考える際に参考となる楽器の例が写真や図で示され、さらにこれらを基に考えたことを記録できるワークシートも載っています。

21ページには、言語活動の例が人物のイラストと吹き出しによって示され、豊富な情報やヒントから、児童がスムーズに思考を深めていくことができるようになっています。

このような学習の過程は、1年生から6年生まで同じ書き方で示されており、児童は見通しを持って学習に取り組むことができるよう工夫されています。

続いて、資料65ページ、観点ウ、探究する意欲を高める工夫です。教育出版5年、緑の付箋ウ、14ページをお開けください。

ここでは順を追って、和音や低音の働きを学びます。まず14ページでは、歌や器楽で低

音の働きについて学習し、1つめくっていただいた16ページで、和音に合わせて体を動かしながら、和音の響きについて感じ取ります。さらにめくっていただくと、20ページでは、和音に合わせた旋律をつくります。

このように、一連の学習の中で児童の意欲が高まり、学びが深まるような配列が各学年にあります。

次に、教育芸術社5年、緑の付箋ウ、34ページをお開けください。こちらは和音の響きの移り変わりについて取り扱っています。

まず、右35ページ下にあるように、体を動かしながら歌や器楽の学習をすることで、ハ長調の和音について学びます。1つめくった36ページでは、和音の響きの移り変わりに注目しながら歌い方を工夫して合唱するように示され、楽譜の下には、技能習得のヒントとして歌声ルームが載っています。

さらに1つめくった38ページでは、和音の音を用いて旋律をつくります。活動が関連づけられるように配列されているだけでなく、1つ1つの学習内容が深められるよう豊富な情報が掲載されており、児童が主体的に探究に向かうことができるようになっています。

教育芸術社では、各学年の全ての教材について、このように関連づけられた学習のまとまりが設定されています。

続いて資料66ページ、観点エ、ユニバーサルデザインの観点からの配慮です。

教育出版1年、黄色の付箋エ、16ページをお開けください。16ページから17ページにかけて、横一列につながる楽譜やカラフルな図版で、児童にとって見やすいよう配慮されています。

また、3年の教科書、黄色の付箋エ、40ページをお開けください。ここでは楽譜に加えて、折り込みで3ページ分の写真の縦書きの歌詞が示されています。このように教育出版は、児童の発達の段階や曲に合わせた適切なデザインで、見やすいよう配慮がなされています。

次に、教育芸術社4年、黄色の付箋エ、6ページをお開けください。目次のページです。学習のまとまりごとに曲や学習活動が整理され、色分けされています。この色分けは、次の8ページのように、分かりやすく、その後の各ページに取り入れられています。

また、同じ4年生の教科書、黄色の付箋エ、11ページをお開けください。右ページの下にあるような、見つける・考える・歌うなどの表示は全学年で統一され、マークに加えて文字でも示されているため、見やすいように配慮されています。

全ての観点の評価結果は、62ページの一覧表にまとめてありますので御覧ください。

併せて、先日新しい情報が入りましたので、この場でお伝えいたします。

教育技術社4年、66ページの、器楽合奏教材「ジッパディー ドゥー ダー」について、原出版社からの使用承認が下りなくなったため、「鉄腕アトム」に変更になるとのことです。この変更が、音楽科の狙いや学習活動に影響を与えることはありません。

以上で、音楽の調査・研究報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問等ございましたらお願いをしたいと思います。いかがでしょうか。

どうぞ、本田委員。

(本田委員)

御説明ありがとうございます。両社で少し難易度といいますか、ちょっと違うかなという印象を受けたんですけれども、やはり授業経験の浅い教員とか担任の先生とかが扱いやすいという観点でいうと、どういうふうな評価になりますでしょうか。

(山越指導主事)

まず、低学年の教科書を見比べていただきたいと思います。教育出版1年生の、例えば16ページですね。教育出版の16ページを御覧ください。カタツムリのページになっております。こちらにありますように、楽譜とそれから縦書きの歌詞、あとは図版といった形になっております。

同じ教材が、教育芸術社のほうでは24ページにございます。同じように楽譜、縦書きの歌詞、それからイラストという形になっており、さらにこちらのほうでは、もう少し情報量が多いという形で示されています。

一見子供たちにとってはたくさんの情報ということで、戸惑うような部分もあるかなというふうに感じていて、子供たちがぱっと見たときに見やすいのは教育出版社のほうかなとも思いますが、教員が授業するに当たりましては、先ほど申しました上のところにあります、見つける・歌う・考えるといったこのコーナーが、3つの資質・能力を今、育てることになっておりますが、そちらと直結しておりまして、この活動でもって、この資質・能力っていうふうにはっきりと明示されているという点では、授業をする上において相当ヒントになるのかなというふうに感じております。

なお、音楽の授業の中では、書いてあることを全て取り扱うというような形ではなく、教える先生方が取捨選択して、子供たちに合わせて教えていくという形になっておりますので、情報量の多さについては、その中から取捨選択できるのではないかと考えております。

(長田教育長)

どうぞ。

(今井委員)

説明ありがとうございます。先ほどリコーダーの動画を見せていただいた、あれが教育

出版のほうだったと思うんですが、教育芸術社のほうではリコーダーの動画がもしあれば、可能であれば見せていただきたいっていうのが1点と、あとその次に、旋律の動画を教育芸術社のほうでたしか出していただいたと思うんですが、それも逆に、教育出版のほうでもし旋律に関する動画があるのであれば、可能であれば見せていただきたいと思います。

(山越指導主事)

少々お時間をいただいて、準備をいたします。

教育芸術社3年生の21ページの上部にあります、二次元コードのほうになります。

リコーダーはご存知のように3つの部分に分けることができまして、一番上のところ、一番上ピースでの音の出し方といったことになります。御覧ください。

(動画再生)

(山越指導主事)

こんなふうに、楽器に興味を持たせるようなことになっています。

それから次、25ページのほうに、シの音で遊ぼうというものがございます。

(動画再生)

(山越指導主事)

もう1つ、シです。

(動画再生)

(山越指導主事)

このように、見本になるような、お手本となるような音を聴くことができるというところがございます。

それから旋律のほうです。教育出版の6年生、17ページを御覧ください。交響曲第5番「運命」の音源を聴くことができるページです。

(動画再生)

(山越指導主事)

このように、オーケストラの音楽とスコア、楽譜が同時に流れるような教材もございません。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

山下委員、どうぞ。

(山下委員)

音楽ではなかなか難しいかもしれないんですけど、兵庫県とか、あと神戸市に関わるような内容とか、そういう記載はありますでしょうか。

(山越指導主事)

教育芸術社、6年生の43ページです。音楽の持っている力や役割のページです。その一番下に、大切なメッセージを伝える力として、1995年の阪神・淡路大震災の際につくられた「しあわせ運べるように」についての記載がございます。教育出版社のほうには、そういった神戸に直接関わる記載はございません。

(山下委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほかにございますか。よろしいでしょうか。

特にないようでしたら、これから投票を行いたいと思います。

投票用紙をお渡ししますので、記入をしていただきたいと思います。

それでは発表いたします。株式会社教育芸術社、4票。教育出版株式会社、2票。よって過半数を超えておりますので、株式会社教育芸術社の教科書を採択いたします。

それでは教科書の入れ替えを行います。

よろしいでしょうか。それでは続いて図画工作です。説明をお願いします。

(西上指導主事)

図画工作の報告をいたします。資料67ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、開隆堂出版、日本文教出版の2社、12点です。

では調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料69ページ、観点ア、知識及び技能の習得のための工夫です。

開隆堂3・4年上、ピンクの付箋ア、8ページを御覧ください。

ページ上部の導入部を御覧ください。色の感じ、形の感じ、いろいろな書き方を試して書いてみようという説明され、絵の具の色味や表し方に着目できるよう促しています。

次に、5・6年下の32ページ、ピンクの付箋アを御覧ください。

ページ上部の導入部に、

「作品の中に入ったつもりになって、つくりたい形を表そう。」と説明しています。このように、学習内容の持つイメージをヒントとして導入部に示すことにより、児童が学習内容を理解し、知識が身につく工夫がなされています。

次に、日本文教3・4年上、ピンクの付箋ア、10ページを御覧ください。中段の丸囲みの筆を御覧ください。筆遣いの技能を高めるために試している様子を、拡大して示しています。

次に、右下の写真を御覧ください。児童が筆に注目するように、吹き出しを用いて視点を示しています。

さらに11ページの上段の、「絵の具は楽しい」の作品を御覧ください。10ページで試した技法を基に、完成した作品が紹介されています。

11ページ右下の、「あったらいいね」の作品を御覧ください。異なった表現方法の作品を集めて、技法の違いを児童に分かりやすく示しています。

このように、自分自身の感覚や行為を通じて知識や技能を習得できるよう工夫がなされています。

次に、資料70ページ観点イ、思考力・判断力・表現力等を育成できる・行っている工夫についてです。

開隆堂3・4年上、水色の付箋イ、11ページを御覧ください。

ビニールを並べたり、積み上げたりする様子が掲載されています。左上の四角囲みの中にある吹き出しを御覧ください。「積み重ねると」という、活動を表している言葉や、完成した様子を「冰山みたいだ」と、物に見立てている言葉が示されており、この言葉を参考に、色や形について考えながら自分なりのイメージを膨らませ、活動に意味や価値をつくり出すような造形的な考え方につながる工夫がなされています。

次に、日本文教3・4年上、水色の付箋イ、20ページを御覧ください。

左上の緑囲みの学習の目当て文を御覧ください。「心に残っていることはどんなことかな」という言葉が書かれています。この言葉をもとに、右の写真を御覧いただくと、子供同士がコミュニケーションを取りながら表すことにつながる様子が、写真とめあて文で理解できます。

次に、水色の付箋イ、18ページの左上を御覧ください。

左上の藤色で囲まれためあて目当て文に、「どこで使いたいのかな、何に使おうかな」という言葉が書かれています。その言葉をもとに右の写真を御覧いただくと、空き容器を組み合わせ、完成した作品を使うことを思い浮かべる様子が写真とめあて文で理解できます。

全題材にわたり、めあてに関連した発想や構想のきっかけが、写真と導入文で関連づけながら示されており、思考・判断・表現を促す工夫がなされています。

次に、資料71ページ、観点ウ、探究する意欲を高める工夫です。開隆堂5・6年下、緑色の付箋ウ、66ページを御覧ください。

「未来につながる図画工作」では、6年間の学習を振り返る様子が紹介されています。そのまま折り畳んだページを広げていただくと、4ページを一度に見ることができます。左から右に見ていくことで、何を学習してきたのかを考え、中学校の活動の様子や、様々な職業で活躍する姿を大きく魅力的に取り上げることにより、自分の将来や生涯を通じて学び続けられるよう工夫がなされています。

次に、日本文教3・4年下、緑色の付箋ウ、30ページを御覧ください。

中段には、「この形がお気に入りだよ」といった吹き出しが活動の写真とともに示されており、形について考え、制作活動につながるような工夫がなされています。

次に31ページ、右上部の写真を御覧ください。完成した作品の鑑賞だけではなく、制作途中に作品について友達と対話し、視線を作品に向けて、自分の考えを働かせながら鑑賞する姿が写真などで示されています。

このように、教科書全体を通して表現活動と鑑賞を相互に関連させ、他者の感じ方や捉え方を共有し、さらに自分の活動に生かすことによって、探究的な意欲を高められるようになっていきます。

次に資料72ページ、観点エ、ユニバーサルデザインの観点からの配慮です。開隆堂1・2年上、黄色の付箋エ、5ページを御覧ください。

見開きを開いて、5ページの目次の中段にある「うきうきボックス」の題材名を御覧ください。そのまま右隣を見ていただくと、うきうきボックスの活動写真が掲載されています。このように、学年で学習する題材名と写真が一目で分かる配置になっており、見やすく理解しやすい内容となっております。また、活動の内容が分かりやすい写真が掲載されていることで、児童の関心が湧きやすい配慮がなされています。

次に、日本文教5・6年上、黄色の付箋エ、60ページを御覧ください。60ページから67ページと進めながら、ページ上部の見出しを御覧ください。見出しが大きく材料、用具ごとに色分けされ、児童にとって見やすいような配慮がされています。

次に59ページを御覧ください。「材料と用具のひきだし」では、中表紙が入ることで、材料・用具に特化しているページだと分かりやすい工夫がされています。これは他社にはない特長となっております。

全ての観点の評価結果は、68ページの一覧表にまとめてありますので御覧ください。

以上で、図画工作の調査・研究説明を終わります。

(長田教育長)

それでは御質問、御意見ございますでしょうか。

今井委員。

(今井委員)

御説明ありがとうございます。図画工作では、やっぱりはさみから始まり、途中でのこ

ぎりとか出てきて、彫刻刀とか、きつと、いろいろやっばりお子さんたちにとって危ないものも使うと思うんですけど、そういうときの安全に特に注意を払っていただきたいと。もちろん皆さんいただいていると思うんですけど、何か特徴的なところがあれば、各社教えていただいてよろしいですか。

(西上指導主事)

安全面に関しては、各社巻末に道具の使い方というものがまとめてあります。その学年で使う主な道具が基本的に巻末でまとめられて、題材のページでは、それをどう使うのかというのが、各社とも具体的に示されているというような形になっております。安全面に関しては両社とも十分配慮がなされているかと思えます。

(長田教育長)

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

デジタルコンテンツなんかの使いやすさなど、何か違いがございますか。

(西上指導主事)

デジタルコンテンツに関しましては、まず教科書に両社とも二次元コードがついております。どのページにもついております。それを基に児童がアクセスをすると、そのページに関連した材料の使い方であったりとか、表現の発展的なページに飛んだりします。

具体的に少し御紹介をさせていただきます。例えば、開隆堂3・4年生の上のページで言いますと、二次元コードを読みますと、このような形でページが開きます。例えば絵の具を使うページでありますと、このような形で8ページ、9ページということで、初めに絵の具の使い方、次に作品というような形で、児童が興味を持つ、知りたいページがすぐに表示されるという形になります。よくある絵の具の使い方の指導です。ここでは、このような形で、具体的に示されています。

日本文教に関しては、6年間の教科書のデジタルコンテンツを1つにまとめるということになっています。これも教科書に関連したページを一目で見ることができます。

ここでも材料と用具の使い方、そして鑑賞である「友達の作品を見てみよう」というような形で、様々な作品をすぐに鑑賞できます。用具の使い方に関しても、どう使うのかというのが動画で、すぐに確認できるようになっております。

(長田教育長)

ほかにごございますか。

どうぞ、山下委員。

(山下委員)

どちらの教科書も大変魅力的といいますか、かといって全く同じではなくて、編集上の力点の置き方が違うかなと思ったりするんですけども、もしあえて端的に言うと、こういうところが違いがあるというようなのを教えていただけたらと思います。

(西上指導主事)

まず開隆堂は、教科書全体を通して、作る手順とか道具の使い方が写真と言葉で示されておりまして、作品の作り方が分かるために、学習の進め方や結果のイメージがしやすい教科書の内容となっております。

それに対して日本文教は、教科書全体を通して問いかけるような導入文や、より理解しやすい言葉選びや作品の写真が多いので、児童が教科書を見て自分なりの思いを膨らます工夫がされているため、図工の特質に応じた物事を捉える視点や考え方を育て、学びに向かう力を育てる教科書の内容となっております。

具体的に少し同じ題材で、追加で御説明のほうをさせていただきます。

開隆堂の3・4年生の上、42ページ。それと日本文教の3・4年生の上、42ページ。この両方を比べていただきたいと思います。

どちらも同じ「くぎ」を使った題材になりますが、まず開隆堂のほうは作品の完成図が示されていて、どういうふうにつくったらいいのかっていうのが一目でよく分かるというような内容になっています。

それに対して日本文教のほうは、子供の視点とか、くぎに着目したりとか、下から見上げたりとか、どういうふうにつくっていったらいいかなという制作のプロセスを大切にされた内容となっております。

(山下委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほか、よろしいでしょうか。

それでは特にないようですので、これから投票を行いたいと思います。

採用決定の考え方は、冒頭に申し上げたとおりです。

投票用紙をお配りしますので、記入をお願いいたします。

それでは発表いたします。日本文教出版株式会社、6票。過半数を超えておりますので、日本文教出版株式会社の教科書を採択いたします。

それではここで10分間休憩を取ります。14時30分、午後2時30分に再開いたします。

(休憩)

(長田教育長)

それでは再開いたします。

次は家庭科です。説明をお願いします。

(青山指導主事)

家庭の報告をいたします。資料73ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、東京書籍、開隆堂の2社、2点です。

では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料75ページ、観点ア、知識及び技能の習得のための工夫です。

東京書籍の教科書、ピンクの付箋137ページをお開けください。またその後、141ページまでをめくって御覧ください。

調理や裁縫を学ぶページでは、児童の手や野菜の原寸大の写真が掲載されていることで、分かりやすくなっています。

また、前の画面を御覧ください。モニターを御覧ください。二次元コードから視聴できる左利きの児童にも対応した動画によって、個人練習で何回も見直しができたり、確かめながら技能を学んだりすることができるようになっています。

(動画再生)

(青山指導主事)

また、こちらの画面は、デジタルコンテンツの目次です。包丁の使い方と手縫いの方法について、多くの右利き、左利きの動画が用意されています。このように東京書籍の教科書は、個人練習で技能を習得できる分かりやすい資料が用意され、技能の習得を容易にするための工夫がなされていることが特長です。

続いて、開隆堂の教科書です。ピンクの付箋16ページを御覧ください。

左側、16ページです。ゆで方の学習の場面には、青菜や芋のゆで方、ゆで時間による変化がよく分かる写真とともに示されています。また真ん中の表では、ゆで方の違いが野菜の部位と関連づけて整理されています。開隆堂の教科書は、このような児童が写真やイラストで視覚的に理解できる工夫があり、すぐに実習、実践に応用することができるようになっています。

次に資料76ページ、観点イ、思考力・判断力・表現力等を育成できる工夫です。東京書籍の教科書、青の付箋92ページを御覧ください。

「夏をすずしくさわやかに」の学習は、本来は涼しい住まい方についての学習をしますが、94ページを御覧ください。一番上のタイトルに、「すずしくさわやかな住ま

い方や着方をしよう」とあるように、東京書籍では、被服の内容も関連づけて扱っています。児童が住まい・被服の両方を関連させながら学習を進めることで、実生活に生きる思考力・判断力を培うことができます。

また、1ページ戻っていただいて、93ページ真ん中には、活動1として、「話し合おう」が設定されています。めくっていただいて、94ページの下には、活動2の「調べよう」が設定されています。ほかにも、1つの学習の内容の中で、考えよう、話し合おう、やってみようなどの活動というコーナーで学習を順に行うことで、問題解決的な学習を進めることができるようになっています。この活動というコーナーは、どの学習の内容にも設定されています。

続きまして、開隆堂の教科書です。青の付箋28ページを御覧ください。

学習の始まりで、児童の興味を引く写真やイラストを提示し、本文の始まりでの、「なぜ整理・整とんをするのだろう」などの問いかけの言葉から、児童が課題を捉えて学習をスタートできるようにしています。

また、29ページの右上のキャラクターが示しているように、どのような視点で学習事項を考えるとよいかのヒントを示すなど、開隆堂の教科書は、家庭科の学習を進めるに当たって、児童が自ら学習内容のポイントに気づけるようにしています。

次に資料77ページ、観点ウ、探究する意欲を高める工夫です。東京書籍の教科書、緑の付箋、17ページを御覧ください。5年生初めに学習するお茶の入れ方について、詳しい説明があります。

次のページ、18ページを御覧ください。お茶の種類や、おいしく入れるための湯の温度、道具や器などのお茶の知識に関する資料が多く掲載され、児童のなるほど、やってみたいという興味や意欲を引き出します。

62ページを御覧ください。先ほどの実習を生かして、「気持ちがつながる家族の時間」の団らんを扱う学習に結びつけることができ、家庭実践の意欲を高めることができる工夫がなされています。63ページの下に団らんの計画例があり、お茶を入れる内容が記載されています。

このように、東京書籍の教科書は、学習したことを次の学習や生活の改善に生かすことができるよう、内容やページ構成に工夫があることが特長です。

続いて、開隆堂の教科書です。緑の付箋、117ページを御覧ください。

このページの下半分には、布を使った作品の例が多く掲載されています。また、120ページを御覧ください。ここでは多くの調理例の掲載があります。左端のマークで示すように、炒める、焼くなど、調理例が調理作業ごとにまとまっていることで、児童が見通しを立てやすく、レシピを二次元コードから取り出すこともできるので、学習したことを生かして、ほかにも作ってみよう、家でもやってみようという児童の実践意欲を高めることができると思います。

開隆堂の教科書は、全体的に児童が面白そう、やってみたいと思える資料が多数用意さ

れ、興味、学習意欲を引き出す工夫がなされていることが特長と言えます。

次に資料78ページ、観点エ、ユニバーサルデザインの観点からの配慮です。

東京書籍の教科書、黄色の付箋、85ページと95ページを併せてお開けください。

85ページの中央の朝食前後のサーモグラフィーの写真と、95ページの下の打ち水前後のサーモグラフィーの写真は、共に比較して考える資料です。児童が理解しやすいように、はっきりと違いが分かる写真を提示しています。

また、72ページを御覧ください。ミシンの糸のかけ方のページでは、糸を鮮やかな赤色で示しており、作業の順を追ったイラストもあるので、児童にも分かりやすい配慮がなされていると言えます。

続いて、開隆堂の教科書です。黄色の付箋、62ページ、見開きの下の紫色の部分、90ページ見開きのオレンジ色の部分を併せて御覧ください。

実習や実践の手順を全て、その全体の流れが見やすいように、背景に紫やオレンジ色の色を配色した横流れのページになっているので、迷わずに内容を目で追うことができます。また、言葉の近くにイラストを配置して、視覚的にも理解できるように配慮がなされています。

全ての観点の評価結果は74ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、家庭の調査・研究報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御質問、御意見ございましたらお願いをしたいと思います。いかがでしょうか。

どうぞ、今井委員。

(今井委員)

御説明ありがとうございます。先ほどの動画で、玉結びの左利き用も載っているのを教えていただいたんですが、それが東京書籍さんだったと思うんですが、開隆堂のほうでは同様の動画とかデジタルコンテンツか何か、もしあれば教えていただけますか。

(青山指導主事)

左利きのということであれば、開隆堂のほうでは、調理系の包丁の使い方については同じようがありました。縫い物のほうについては並縫いの動画しか見つけれなかったのですが、東京書籍のほうがいろんなパターンがあるなというところです。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

どうぞ。

(山下委員)

時代の変化に伴って、男女共同参画でありますとか、あるいは家族の多様性とか、いわゆるLGBTQの問題など多様性に関する配慮で、もし両方のところで何か見えるところがあれば、両社の教科書で教えていただければと思います。

(青山指導主事)

どちらの教科書も、出てくるイラストについてはいろんな家族の、家庭の仕事をしている様子などについては、男の子がやったり女の子がやったりっていうのは、いろんなパターンが出てきます。ちょっと例を探しますのでお待ちください。

まず、家族の中でどのような仕事をしているかっていうようなイラストが載っている部分については、東京書籍は12ページ、開隆堂については8ページになります。ここにイラストがたくさんあるんですけども、子供の送り迎えをお父さんと思われる人がやっていたり、お風呂掃除をお父さんがやっていたり、お母さんがやっていたりっていうような、そういうイラストのところで、いろんな人たちがどんなことでもやっているっていうようなところが、このページだけではなくて、ほかのところにもたくさん出てくる形になっています。

LGBTQのところって言われるとちょっと難しいんですけども、それをあえて取り上げているようなところはないんですが、こうやってイラストによって子供たちにイメージを持たせるっていうところでは、どちらにも配慮があるのかなというふうに思われます。

(山下委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほか、いかがですか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

SDGsについては、扱い方や何かに違いが各社ありますでしょうか。

(青山指導主事)

SDGsについてはどちらにも記載がありますが、例えば東京書籍では43ページ、この部分は、5年生の早い段階、1学期が終わりか2学期の始め頃に当たるかなというページになるんですけども、SDGsの特設ページを設けています。その後の学習でその視点を持てるようにするということが狙いとなっていると思われます。

SDGsの特設サイトというものがデジタルコンテンツの中にありますので、SDGsについて映像などを基に学ぶことができるようになっております。

開隆堂のほうでは、扉のページで、この初めの開くページのところがありますが、そちらのほうに17のゴールを記載してあります。

また78ページは5年生の最後の部分になりますが、今まで学習したことと環境との関わりについて示しており、5年生の学習を生かし6年生の学習につなげようというテーマで、SDGsを関連づけて記載しているページを設けています。

また最終題材として、持続可能な社会のためにという題材を設けています。132ページになります。開隆堂のほうは、こちらのほうで、この132ページの題材によって、環境に関すること、そのまとめというふうにして扱うような構成になっております。

以上です。

(長田教育長)

よろしいですか。ほか、ございますか。

それでは、特にないようでしたら投票に入りたいと思います。

採択決定の考え方は、冒頭に申し上げたとおりです。

それでは投票用紙をお渡ししますので、記入をしてください。

それでは発表いたします。

東京書籍株式会社3票、開隆堂出版株式会社3票。よって3票ずつ同数となりましたので、教育長の私が決することとしまして、開隆堂出版株式会社の教科書を選択いたします。

それでは教科書の入れ替えを行います。

準備はよろしいでしょうか。

それでは保健に参ります。説明をお願いします。

(小林指導主事)

保健の報告をいたします。資料79ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、文教社、光文書院、学研の6社、12点です。

では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料81ページ、観点ア、知識及び技能の習得のための工夫です。

まず、東京書籍について説明します。東京書籍5・6年生、ピンクの付箋ア、40、41ページを御覧ください。

小学校の保健学習で身につける技能は、けがの手当てと、不安や悩みへの対処の2つがあります。こちらはその重要な1つ、けがの手当てについて学ぶページです。

40ページの左上、けがをしたときと書いてあるフローチャートを御覧ください。ここにけがをした後の大まかな行動の道筋が示されています。

次に、そのページの下にある、自分でできる手当ての基本を御覧ください。ここでは、傷口を清潔にすること、圧迫止血をすること、患部を冷やすことという、手当ての基本となる3つが示されています。

最後に、41ページ上部にあるように、けがの手当ての具体的な方法が示されており、けがをした後の対処の方法が段階的に学べるようになっています。

実習後には、41ページの中段にあるように、適切な手当てができたかという振り返りを行い、さらに一番下のイラストのようなけがをした場合に、自分でできる手当てを考えるという応用まで設定されていることで、実際に役立つ知識・技能として身につけることができる工夫がなされています。

次に、光文書院について説明します。光文書院5・6年生、ピンクの付箋ア、54ページを御覧ください。

左のページの右下のグラフは、喫煙開始年齢と心臓病やがんによる死亡率の関係を表しています。このグラフからは、喫煙の開始年齢が低いほど、健康への害が大きくなることが分かります。一番左の棒グラフでは、たばこを吸わない人の死亡率を「1」で表しており、喫煙による健康への害の大きさを捉えやすい工夫がなされています。

1ページめくった57ページを御覧ください。ここには、飲酒を始めた年齢と、アルコール依存症になる人の割合を表したグラフがあります。このグラフから、20歳未満の飲酒が禁止されている理由が分かります。

このように、こちらの教科書では、知識理解に適したグラフの資料が提示されており、学習内容を確かに習得できる工夫がなされています。

次に資料83ページ、観点イ、思考力・判断力・表現力等を育成できる工夫です。

まず、東京書籍について説明します。東京書籍3・4年生、青の付箋イ、7ページを御覧ください。このページは、健康とはどんな状態で、何が関係しているかを学ぶ導入の部分です。

1時間の学習はいつでもステップ1の、「気づく・見つける」から始まります。真ん中の写真を御覧ください。ここには、日常生活を想起しやすい写真やイラストが大きく配置されています。その写真やイラストを基に考えたり、友達と対話したりすることができ、学習課題を自ら導き出したり、自分の健康に関する課題に気づいたりしやすい工夫がなされています。

保健の学習では、自分の生活や体験を振り返る中で、健康についての疑問や課題を見つけられるようにすることを大切にしていますが、こちらの教科書では、毎時間の初めのページにそのための工夫がなされています。

次に、大修館書店について説明します。大修館書店5・6年生、青の付箋イ、34ページを御覧ください。犯罪被害を防ぐにはどうすればよいかを考える学習のページです。左のページの真ん中にある、話し合おうというコーナーで、イラストなどを基に学習課題について話し合う活動が設定されています。

また、青の付箋イ、49ページをお開けください。一番下にある「話し合おう」の2つ目の鉛筆マークには、友達の見解を聞いて新たに気づいたことを書く欄があります。このように、対話的な学習を促す場面を多く設定し、自分の考えを広げたり深めたりしやすい工夫がなされています。

次に、文教社について説明します。文教社3・4年生、青の付箋イ、10ページを御覧ください。

左上、タイトルの下の子供の絵を御覧ください。こちらの教科書は、子供の言葉で書かれている吹き出しがたくさんあり、ここには学習課題につながる問いかけが書かれています。

一番下の女の子の吹き出しを御覧ください。こちらには、今のやり方で大丈夫かなという、次の学びに思考をスムーズにつなげる問いかけが書かれています。このように、子供の言葉によって問いかけをすることで、思考を促す工夫がなされています。

最後に、学研について説明します。学研5・6年生、青の付箋イ、12ページを御覧ください。

左ページ、運動会の徒競走の写真を御覧ください。このように授業の初めには、どの学習においても生活場面を想起させる写真やイラストが大きく配置されています。それを基に予想したり、自分の経験を振り返ったり、友達と対話したり、様々な活動が設定されていることで、学習課題につながる気づきを引き出す工夫がなされています。

次に資料85ページ、観点ウ、探究する意欲を高める工夫です。

まず、東京書籍について説明します。東京書籍5・6年生、緑の付箋ウ、27ページから30ページをお開けください。

こちらは、交通事故の防止について学ぶところで、27ページから30ページで一つの学習のまとまりになっています。27ページから30ページまで、順に御覧ください。

こちらの教科書は、どの学習でも1時間の学習が、1「気づく・見つける」、2「調べる・解決する」、3「深める・伝える」、4「まとめる・生かす」の4つのステップで組み立てられています。1の「気づく・見つける」に取り組むときには、学習課題やその先の学習があえて見えないページ構成になっており、写真やイラストに着目して、気づく・見つけることに集中しやすい工夫がなされています。さらに後半の「深める・伝える」と、「まとめる・生かす」の2ステップでは、学習したことを生かして考える活動が十分に行えるようになっています。

初めに高まった学習意欲を保ちながら、1時間の学習の後半にもさらに深く考え、主体的に学びを進められるような工夫がなされています。

次に、大日本図書について説明します。大日本図書3・4年生、緑の付箋ウ、39ページを御覧ください。

真ん中には、様々な性という発展的な内容の資料があり、体の性と心の性について取り上げています。

また、左の38ページを御覧ください。上の楽しい保健ウェブという二次元コードからは、体力向上のホームページを見ることができ、子供の体力低下について学ぶことができます。

このように、教科書に加えてデジタルコンテンツにおいて、現代的な課題などの発展的な内容の資料が数・種類とも豊富にあり、学びを深めることができる工夫がなされています。

最後に、光文書院について説明します。光文書院5・6年生、緑の付箋ウ、34ページを御覧ください。このページには、インターネットを通じた犯罪被害について学ぶことができる資料があります。

また、緑の付箋ウ、40ページを御覧ください。上の二次元コードからは、様々なアレルギーに関する資料を見ることができるデジタルコンテンツが活用できます。

このように、教科書に加えてデジタルコンテンツにおいて、現代的な課題などの発展的な内容の資料が数・種類とも豊富にあり、学びを深めることができる工夫がなされています。

次に、資料87ページ、観点エ、ユニバーサルデザインの観点からの配慮です。

観点エについては、どの教科書会社もユニバーサルデザインの観点から適切な配慮がなされており、扱いやすいものになっています。

全ての観点の評価結果は80ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、保健の調査・研究報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御意見、御質問等ございましたらお願いします。いかがでしょうか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

保健は授業時間も短いので、先生方なかなか大変じゃないかと思うんですが、特に経験の浅い先生に対する配慮がなされているところ、何か特徴があれば教えていただきたいのですが。

(小林指導主事)

保健学習ですが、時数としては、3年生・4年生において各8時間程度、5年生・6年生において各16時間程度ということが設定されております。教科書に出てくる順番に授業を進めることで、子供たちが課題意識を持って主体的に課題解決に取り組める学習になるようなつくりの教科書が適していると考えています。

どの教科書も学習の進め方は分かりやすく、自然とそのような学習が行えるような工夫はなされているのですが、東京書籍と学研では、授業の導入において、学習意欲を高め、学習課題を自分事として捉えるという面での工夫がなされていると考えています。

(長田教育長)

よろしいでしょうか。ほか、いかがでしょうか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

性に係ることについてどのように扱っていて、その大切さを子供たちにどう教えているかというのを、その辺り少し御説明いただければと思います。

(小林指導主事)

学習指導要領では、体の発育・発達について理解できるようにするという表記があります。子供たちが理解できるようにすることについては3つで、1つ目が、体は年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には個人差があること。2つ目は、体は思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。3つ目は、体をよりよく発育・発達させるには、調和の取れた食事、適切な運動、休養及び睡眠が必要であること。この3つになっています。

1つ御紹介させてください。光文書院であれば、3・4年生の教科書31ページを御覧ください。光文書院3・4年生、31ページです。

上には初経・精通を経験した時期のグラフがあり、その下には体験談が書かれています。学習指導要領に書かれている学ぶべきことに、個人差があることが挙げられているのですが、このグラフや体験談はその理解につながると考えています。

どの教科書も、今日までの体の成長や変化に関心を持てる導入や、発育・発達には個人差があることが理解できる体験談やグラフが工夫されており、先ほど申し上げた3つが適切に学べるようにはなっているのですが、グラフ・体験談とも掲載されているのは、東京書籍、大日本図書、大修館書店、文教社、光文書院となっております。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

(山下委員)

保健の場合には、デジタルコンテンツとかはどんな感じで提供されているのでしょうか。もし何か効果的に使えるようなものがあれば、御紹介いただける範囲でお願いできればと思います。

(小林指導主事)

どの教科書においても、デジタルコンテンツが用意されています。デジタルコンテンツのよさの1つに、けがの手当てや不安や悩みへの対処、技能の習得において効果的だということが挙げられるかなと思っております。動画があると分かりやすく、正しく行うことができるので、確かな習得につながると考えています。

不安や悩みへの対処として、体をほぐす運動、それから呼吸法、この動画やアニメーションは全ての教科書会社にあります。

例えば学研であれば、2人組で行う体ほぐしの運動として、このような動画があります。

(動画再生)

ほかにも呼吸法、座ってできるものも紹介されております。

それからけがの手当ての動画を1つ紹介します。大日本図書の子どもの5・6年生です。

けがの手当ての基本として、すり傷、打撲、捻挫、鼻血、様々なけがの手当ての方法を動画で見ることができます。

すり傷の手当ての仕方を少し流してみます。

(動画再生)

(小林指導主事)

このようなけがの手当ての動画で、けがの種類に応じた手当ての方法が分かるようになっているのは、東京書籍、大日本図書、文教社、光文書院となっています。

また、デジタルコンテンツは学習内容の理解を助けるものと、現代的な諸課題などの発展的な内容で、自らの興味・関心に応じて学びを広げたり、深めたりできるものがありますが、東京書籍、大日本図書、光文書院はこの2つが多くあります。授業で全て扱うことはできないのですが、子供たちが自分の興味・関心に応じて学習できるよさがあると考えています。

あと、まとめや振り返りのワークシートは東京書籍と学研に多くあり、まとめの問題は大日本図書と大修館書店に多くあります。

以上です。

(長田教育長)

ほかにございますか。よろしいでしょうか。

それでは特にないようですので、これから投票を行います。

採決決定の考え方は冒頭に申し上げたとおりです。

投票用紙をお渡ししますので、記入をお願いします。

それでは発表いたします。東京書籍株式会社、6票。過半数を超えておりますので、東

京書籍株式会社の教科書を採択することといたします。

それでは教科書の入れ替えを行います。

よろしいでしょうか。それでは次は外国語です。説明をお願いします。

(小野初等教育係長)

外国語の報告をいたします。資料106ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6社、12点です。

(長田教育長)

89ページですね。

(小野初等教育係長)

大変失礼いたしました。学習者用デジタル教科書については、文部科学省から全国全ての児童に配布されています。

では調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに資料91ページ、観点ア、知識及び技能の習得のための工夫です。東京書籍5年生の教科書をお取りください。

ピンクの付箋ア、12ページをお開きください。左のページ上にステップ1があります。ここでは、外国の人とやり取りをする活動が設定されています。学習者用デジタル教科書では、画面上で外国の人と模擬対話をする動画があります。それでは、モニターを御覧ください。

(動画再生)

(小野初等教育係長)

児童は、画面上で外国の人と模擬対話をしながら、やり取りに必要な表現を繰り返し練習することができます。このように東京書籍の教科書は、学習者用デジタル教科書のコンテンツが充実しており、コミュニケーションの中で繰り返して知識や技能を習得するための工夫がなされているのが、特長として挙げられます。

続いて三省堂、5年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋アの12ページ、13ページをお開きください。

左のページ下にサウンドチャンツとワードチャンツがあり、右下のページにフレーズチャンツがあります。チャンツとは、一定のリズムに合わせて発音をする活動です。それが全ての学習のまとめりで3種類設定されています。

1つ目のサウンドチャンツは、Aというアルファベットとアという音、Bというアルフ

ァベットとブという音、こういったアルファベットの名前と音を、リズムに合わせて繰り返し練習することができます。このページは、5年生の最初の学習ですので、A、B、Cといったアルファベットの名前に慣れ親しめるようなABCソングになっています。

2つ目は、ワードチャンツです。この音声をお聞きください。

(動画再生)

(小野初等教育係長)

お聞きいただいたように、ワードチャンツではその学習のまとまりで新しく学習する単語を、リズムに合わせて何度も練習することができます。

最後に、フレーズチャンツです。この音声をお聞きください。

(動画再生)

(小野初等教育係長)

お聞きいただいたように、フレーズチャンツでは、その学習のまとまりで新しく学習する表現を、リズムに合わせて何度も練習することができます。このように、アルファベットの音から単語、表現へと段階的に繰り返し音声を練習できる工夫がなされています。

次は資料93ページ、観点イ、思考力・判断力・表現力等を育成できる工夫です。東京書籍、5年生の教科書をお取りください。

青の付箋イ、4ページ、5ページをお開きください。左ページ上を御覧ください。1学期に自分のことを伝え合おう、2学期に身近な地域のことを伝え合おう、3学期に日本のことを紹介しようとなっています。

東京書籍、6年生の教科書をお取りください。青の付箋イ、4ページ、5ページをお開きください。

左ページ上を御覧ください。1学期に、世界の国や生活を伝え合おう。2学期に、世界と地球を見つめよう。3学期に、思い出と夢を紹介しようとなっています。このように、東京書籍の教科書は学期ごとにテーマが設定されているため、テーマごとに目的意識を持って思考を働かせ、自分の考えや気持ちを伝え合えるような工夫がなされていることが特長として挙げられます。

続いて、光村図書6年生の教科書をお取りください。青の付箋イ、79ページをお開きください。

右ページの真ん中に、プラスワンという活動があります。始めは「What do you want to be?」「I want to be a doctor.」というやり取りですが、whyという理由を尋ねる表現を付け加えることで、理由を含めたやり取りになります。

このように光村図書の教科書は、これまでに学習した表現等を付け加えながら、より詳

しく自分の考えや気持ちを話し、伝え合う活動を深めるための工夫がなされていることが特長として挙げられます。

次に資料95ページ、観点ウ、探究する意欲を高める工夫です。外国語では、背景にある文化に対する理解を深めることが大切です。

開隆堂、5年生の教科書をお取りください。緑の付箋ウ、42ページをお開きください。

左ページ上を御覧ください。学習のまとめりごとに、「Around the world」があります。このページでは世界の珍しい授業が取り上げられ、ジャマイカ、ウガンダ、フィンランドの3か国の授業が紹介されています。

併せて、84、85ページを御覧ください。各学期末に「Our World」があります。このページは、エジプト、カナダ、タイ、オーストラリア、スイス、アルゼンチンの6か国のいろいろな標識が紹介されています。このように、世界の文化に関連する資料の「Around the world」や「Our World」では、40か国以上もの国について世界の文化に関連する資料が用意され、各国の文化を理解しやすい工夫がなされているところが特長として挙げられます。

啓林館、5年生の教科書を御覧ください。緑の付箋ウ、91ページをお開きください。

5年生のユニット8「Let's go to Singapore」では、自分の行ってみたい国や、ここでできることを伝え合う学習を行います。

右ページを御覧ください。世界遺産を、上からアンコールワットなどの文化遺産、ピクトリアの滝などの自然遺産、マチュピチュの複合遺産として、写真入りで詳しく紹介しています。

このように、啓林館の教科書は世界遺産に関連する資料が用意され、各国の文化を理解しやすい工夫がなされているところが、特長として挙げられます。

最後に、資料97ページ、観点エ、ユニバーサルデザインの観点からの配慮です。

東京書籍、5年生の教科書をお取りください。黄色の付箋エ、16、17ページをお開きください。

左ページ上を御覧ください。「大文字を身につけよう」と書かれており、AからZまでの大文字を練習する見開きページになっています。

小学校1年生で初めて平仮名を学習する際には、4つのマス目に正確に書けるよう、丁寧に指導します。外国語でも同じように、アルファベットを書く初期段階では、特に手本を見ながら、4線に正確に書くことが大切です。

右利きの児童は、左端にある文字を参考にして書くことができます。左利きの児童も、右端にあるなぞり書きの文字を参考にしながら書くことができます。このように、東京書籍の教科書は、文字を書く初期段階で左利きの児童にも配慮して、正確に書くことができるような工夫をしていることが特長として挙げられます。

続いて、教育出版社、6年生の教科書をお取りください。黄色の付箋エ、裏表紙を御覧ください。CUD認証マークがあります。CUD認証は、色彩の多様性に対応しているこ

とを保証する証として表示するマークになっており、配色に配慮がなされています。
全ての観点の評価結果は90ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。
以上で、外国語の調査・研究報告を終わります。

(長田教育長)

それでは御質問、御意見ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。
どうぞ、今井委員。

(今井委員)

説明ありがとうございます。中学校での英語の教育につながる、何か意識とか工夫とかがあれば、各社の特徴を教えてくださいませんか。

(尾方指導主事)

6社全てにおいて、卒業前の3学期に、中学校でやってみたいことを伝え合う学習を設定しています。その中でも、中学校ではどのような学習をするのかを記載したページを設けているのは、東京書籍と光村図書です。

教科書構成ですが、東京書籍の6年生の教科書をお取りください。5ページの目次をお開きください。

ユニット7「Why this memory」で、小学校生活の一番の思い出を伝え合い、ユニット8「My future, my dream」で、中学校生活や将来の夢について伝え合い、中学校との接続ページである「Going to junior high school」に続きます。

光村図書の6年生の教科書をお取りください。5ページの目次をお開きください。

ユニット7「My dream」で中学校生活や将来の夢について伝え合い、ユニット8「My best memory」で小学校での思い出の学校行事を伝え合い、中学校との接続ページである108、109ページ、「中学生に向けて英語の学習を続けていこう」に続きます。

以上です。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。
山下委員。

(山下委員)

御説明ありがとうございます。今、中学校のほうの接続についてお教えいただいたんですが、今度は入口とといいますか、3・4年生からのいわゆる外国語活動からこの教科への橋渡しみたいなところで、何か御示唆いただけたところがあったら教えていただきたいと思えます。

(尾方指導主事)

6社全てにおいて、3・4年生との接続を意識したページが設定されています。特に三省堂は、「英語で言ってみよう」というコーナーで、既習内容をバランスよくイラストで掲載しており、扱いやすくなっています。

では、三省堂の5年生の教科書をお取りください。6ページ、7ページをお開きください。6ページから9ページにかけて、3・4年生で扱った単語や表現を復習する「英語で言ってみよう」が設けられています。

以上です。

(長田教育長)

ほか、ございますか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

英語ではデジタル教科書のお話がありますが、デジタルコンテンツについて各社いろんな工夫をされていると思いますが、何か特徴があれば教えていただきたいと思うんですが。

(尾方指導主事)

学習用デジタル教科書のページを示しながらお話ししますので、しばらくお待ちください。

まずは私のお話を聞いていただきたいと思います。外国語は音声を中心となって学習が進んでいくので、ネイティブの音声を聞くコンテンツについては、各社充実しています。

例えば音声とリズムを組み合わせたチャンツでは、どの教科書にも準備され、それらを活用することで、子供たちが楽しみながら抵抗なく英語特有の音声に慣れ親しむことができます。

また、発音の際、ネイティブと同じような発音で話したいけれどそれがうまくできない子供には、東京書籍の「Watch and think」が有効だと感じました。

モニターを御覧ください。口元を見ながら御視聴ください。

(動画再生)

(尾方指導主事)

アニメではなく、実際の外国の方の口元がはっきり見えるので、発音の仕方がつかみやすく、学習用パソコンで繰り返し視聴し、練習することができます。

以上です。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

特にないようでしたら、投票を行いたいと思います。

採択決定の考え方は冒頭に申し上げたとおりです。

それでは投票用紙をお渡ししますので、記入をお願いいたします。

それでは発表いたします。東京書籍株式会社、6票。過半数を超えておりますので、東京書籍株式会社の教科書を採択いたします。

それでは教科書の入れ替えを行います。

よろしいでしょうか。

それでは最後の道徳に参ります。説明をお願いします。

(亀谷係長)

道徳の報告をいたします。資料99ページを御覧ください。

調査・研究の対象となる教科書は、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、光文書院、学研の6社、教科書36点、道徳ノートを含めると42点です。

では、調査結果について御説明いたします。

道徳科は、他教科のような知識・技能を習得する教科ではありませんので、中教審専門家会議において示された観点を挙げております。

資料101ページ、観点ア、道徳的価値の意義及びその大切さの理解につながる工夫についてでございます。

ここで言う道徳的価値とは、人間がよりよく生きるために必要なこと、例えば親切、思いやり、信頼、友情、命の尊さなどを言います。

東京書籍について説明します。3年、ピンクの付箋、47を御覧ください。嫌だなと思ったら何ができるかについて、具体的な対応の仕方について触れています。

続いて4年、ピンクの付箋、42から43を御覧ください。見て見ぬふりをする周りの子供たちの心の中を考えるとともに、自分にできる方法について話し合い、みんなで一歩踏み出し、教室の空気を変えていくことが大切であるということに触れています。

このように、東京書籍はいじめ防止問題に関して、具体的かつ様々な角度、視点で考える教材が取り扱われているという特徴があります。

続いて、教育出版について説明します。4年、ピンクの付箋、33から37を御覧ください。休み時間、1人の子をターゲットにしたプロレスごっこを巡っての場面が取り上げられています。

続いて6年、ピンクの付箋33から36を御覧ください。何もできなかった自分に対して最後に言われた、「ひきょうだよ」という言葉について考え込んでしまうという話です。

続いて5年、ピンクの付箋、38から41を御覧ください。ここではSNSに関わる問題が取り上げられています。

このように、いじめ問題に関して自分事として考えることができるよう、身近な出来事を数多く取り上げているところに特徴があります。

続いて、学研の教科書について説明します。4年、ピンクの付箋、100から103を御覧ください。「友達が泣いている」という題材で、子供たちの関心が引き寄せられるように、イラストや紙面の構成が工夫されています。

また、103ページ、「考えよう」にある問いかけ、「このクラスの誰か1人を選んでアドバイスしてみよう」によって、友達の多様な意見に触れ、自己に向き合いながら考えを深めることができます。

続いて5年、ピンクの付箋、44から49を御覧ください。実体験に基づく2つのメッセージを読んで、どんなことを感じるかについて考える教材です。

このように、いじめ防止に関してまずは自分でしっかりと考え、判断するような教材が取り上げられているところに特徴があります。また、年間を通してバランスよくいじめ防止に関連する教材が配列されています。

次は資料103ページ、観点イ、物事を多面的・多角的に考え、さらに自分で考えを深め、判断し、表現する力を育むための工夫についてでございます。

光村図書の教科書について説明します。3年、青の付箋、10から13を御覧ください。

3年生以上の教科書には、道徳の学び方や教材文の読み方についてのプロセスが下の欄に示されています。考えたいことに気づく、よりよい生き方について考える、学んだことをつなげる、の3つは、考える道徳、議論する道徳へのステップであり、子供たちの主体的な学びにつながります。

続いて、日本文教出版の教科書について説明します。4年、青の付箋、52から53を御覧ください。即興表現である役割演技のやり方が写真で示されています。これにより、初めての指導者でも役割演技の指導がやりやすくなります。

続いて同じく4年、青の付箋、136から137を御覧ください。書くことにより、テーマについてじっくりと考えることができます。

このように、役割演技などの体験的な活動や言語活動などを取り入れることにより、主体的・対話的で深い学びを目指しているところに特徴があります。

続いて、光文書院の教科書について説明します。3年、青の付箋、28から29を御覧ください。「言葉のキャッチボール」では、友達と実際にやってみることで、相手がどんな気持ちになるかを考える活動になります。

続いて5年、青の付箋、46から47を御覧ください。高学年になると、相手の気持ちも考えながらうまく自分の思いを伝えるにはどうすればよいか、「ナイスリターン」で体験する活動が取り入れられています。分かりやすい体験活動を通して、相手の気持ちを理解するという工夫がなされています。

続いて学研の教科書について説明します。3年、青の付箋、105を御覧ください。「異なる意見が出たら」では、対立する意見が出た場合、どのような解決方法があるかを考えることができます。

続いて3年、青の付箋、126を御覧ください。「教えてあげたほうがいいのか」も、異なる意見が出た場合にどのようにすればよいかについて書かれています。感情をぶつけ合うのではなく、問題点を整理し話し合うことが、問題解決につながるという示唆を与えてくれています。

次は資料105ページ、観点ウ、自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深めるための工夫についてでございます。

東京書籍の教科書について説明します。5年、緑の付箋、58から63を御覧ください。ネットワーク社会における安易な情報発信の使用に警鐘を鳴らし、その危険性について考えさせる教材です。情報モラルのコラムには詳しい関連情報があり、併せて授業で扱うことができます。情報モラルについて、子供目線の身近な出来事を扱い、さらに指導時期を夏休み前に行えるようにと、教材の配列も工夫されています。

続いて、日本文教の教科書について説明します。6年、緑の付箋、50から53を御覧ください。「ウイルスとの戦い」は、コロナ禍で奮闘する医療従事者の姿を家族の視点から書いた実話です。日本文教の教科書は、キャリア教育をはじめ、福祉、平和、人権、防災、環境、国際理解などの現代的・社会的課題についての教材が豊富に掲載されています。

続いて、学研の教科書について説明します。6年、緑の付箋、12から16を御覧ください。深刻な環境汚染について、チョモランマ清掃登山隊により、深く考えられるような工夫がなされています。

続いて、同じく6年、緑の付箋、114から117を御覧ください。「会話のゆくえ」から、便利なはずの情報機器によって友達関係が壊れたり、思わぬ被害に遭ったりする危険性を、学年に応じて考えられるよう工夫がなされています。現代的な課題を通して、自分と自分を取り巻く社会や環境に目を向けながら、自らの生き方について考える教材が豊富に用意されています。

最後は、資料107ページ、観点エ、ユニバーサルデザインの観点についてでございます。観点エについては、各教科書会社ともユニバーサルデザインの観点から適切な配慮がなされており、使いやすいものになっています。

全ての観点の評価結果は100ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、道徳の調査・研究報告を終わります。

(長田教育長)

それでは、御質問、御意見等がございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

先ほど少し、情報モラルというかネットモラルについての紹介がありましたけど、教科書会社さんによって扱いが違うとか、何か特徴があるとか、何かそんなことはあるでしょうか。

(亀谷係長)

情報モラルの学習を通して何を学んでほしいかということなんですけれども、道徳科では、親切や思いやり、礼儀、規則の尊重などを狙いとして、また高学年では、法や決まりの持つ意味についても考えさせることが大切であると、各教科書、特徴があります。

特に高学年では、各社ともスマホ、SNSの使い方を基に、情報社会の倫理、法の理解と遵守について考えさせております。

例えば東京書籍、先ほど申しました5年生の「共有しちゃえ」であるとか、それから6年生、用意していただけますでしょうか。東京書籍、6年生、42ページを御覧ください。「ばかじゃん!」、これは直接SNSとかスマホではないんですけれども、転校してきた子に対して、この「ばかじゃん!」という言葉について考えさせる、広い意味での情報モラルを扱った教材です。

ほかにも低学年では、このように情報モラルといえども、礼儀であるとか規則の尊重であるとか、そういうことについて考えさせるものであり、高学年に行くほど、スマホであるとかSNSの使い方について、各社とも考えさせる教材がそろっております。

以上です。

(長田教育長)

よろしいでしょうか。ほかにございませんか。

この別冊のノートがあるのが、日本文教出版だけですね。ほかはないですね。これ、授業の中で、子供たちに書く活動というか、書いて学ぶという活動をどういうふうにされているのでしょうか。今後どういうふうにするのでしょうか。

(亀谷係長)

確かに日本文教だけが道徳ノートがあるのですけれども、各社とも指導書のデジタル集の中にワークシートがついていたり、それ以外にも教科書の中に簡単な書き込みができるような欄があったり、巻末に学習の記録や振り返りチェックを書いたりすることができるような工夫がなされています。

特に低学年は書くことに大変時間がかかりますので、短時間で抵抗なく書いたり、あるいはシールを貼ったりする工夫がされているという特長が見られました。

(長田教育長)

ほかの各社の部分を含めて、きちんとその辺のところは保障というか、フォローが行き届いているという理解でよろしいですか。

(亀谷係長)

されています。

(長田教育長)

どうぞ、正司委員。

(正司委員)

二次元コードを使ったというかデジタルコンテンツについて、何か使い方に特徴みたいなことがありますでしょうか。

(亀谷係長)

二次元コードから、例えば読み聞かせであるとか、スピーチとか、インタビューとか、動画、風景、クイズなど、発展的に扱えるようなコンテンツが、各社とも豊富に用意されております。ただ、1時間の道徳の学習ではやることが大変多いですので、計画的に利用することが必要であると考えております。

2つほど紹介したいと思います。まずは東京書籍の3年生、10ページを御用意ください。

「あいさつをすると」。この朗読について御紹介いたします。

(動画再生)

(亀谷係長)

このように、朗読を二次元コードから聞くことができます。

もう1つ紹介いたします。学研、6年生の教科書を御用意ください。学研、6年生、94ページ、「命をみつめて」。骨肉腫患者の猿渡瞳さんの、実際のスピーチを見ることができます。

(動画再生)

(亀谷係長)

このように、各社とも工夫された二次元コードがあります。

以上です。

(長田教育長)

ほか、ございますか。

今井委員、どうぞ。

(今井委員)

御説明ありがとうございます。いじめを取り扱っているものを幾つか御紹介いただいて、道徳では本当にいじめをしっかりと学んでいただくというのはすごく大事なところだと思うんですが、恐らく各社さんかなり力を入れていただいていると思うんですが、もし何かちよっと違いとか、特徴的なところとかがあれば少し教えていただきたいなと思うんですが、いかがでしょうか。

(亀谷係長)

いじめは、今おっしゃったように大変各社とも力を入れており、多いところで30以上の教材、それから少ないところでも20ぐらいの教材を扱っております。

それから、法律面で考えている教科書が幾つかあります。例えば、子どもの権利条約、これに関しては4社扱っております。東京書籍、光村図書、光文書院、学研。世界人権宣言に関しては、教育出版、光村図書、日本文教。いじめ防止対策推進法は、東京書籍、日本文教。日本国憲法は学研というふうに、法律面から捉えている教科書会社がありました。以上です。

(長田教育長)

よろしいでしょうか。ほか、ございますか。

特にないようでしたら、投票を行いたいと思います。

採択を決定する考え方は冒頭に申し上げたとおりです。

投票用紙をお渡ししますので、記入をお願いします。

それでは発表いたします。

株式会社学研が6票で過半数を超えておりますので、株式会社学研の教科書を採択いたします。

以上で、全種目の審議が終了いたしました。

全種目の採択教科書について、改めて確認をいたします。

国語、光村図書出版株式会社。書写、教育出版株式会社。社会、日本文教出版株式会社。地図、株式会社帝国書院。算数、東京書籍株式会社。理科、東京書籍株式会社。生活、株式会社新興出版社啓林館。音楽、株式会社教育芸術社。図画工作、日本文教出版株式会社。家庭、開隆堂出版株式会社。保健、東京書籍株式会社。外国語、東京書籍株式会社。道徳、株式会社学研に決定をいたしました。

以上で、教第22号議案令和6年度使用神戸市立小学校及び義務教育学校前期課程の教科

書採択についての審議を終わります。

本日の教育委員会会議はこれもちまして終了といたします。長時間どうもお疲れさまでした。

閉会 16時0分